四国圏在住者から観た
中国地方の観光地の実態と魅力度

報告書

2020 年 1 月

（一社）中 国 経 済 連 合 会

目　次

１．調査概要 **1**

１）調査目的 1

２）調査手法及びサンプル数 1

３）観光エリアの設定 2

２．調査結果 **4**

１）回答者属性 4

２）訪問経験 5

３）満足度 10

４）交通手段 15

５）訪問希望地 16

６）中国地方への旅行 23

７）中国地方の名称 25

８）中国地方のイメージ 26

９）中国地方の特産品 32

10）周遊ルート 34

３．まとめ **38**

１）過去調査との特徴比較 38

２）調査結果からみる四国圏からの誘客方策の方向性 40

１．調査概要

１）調査目的

○（一社）中国経済連合会は、2012 年度から大都市圏である首都圏、関西圏、及び隣接圏である九州圏、四国圏の在住者を対象に中国地方の観光地に対する認識や評価についてウェブアンケート調査を実施している。

○今回は、隣接圏域である四国圏在住者の中国地方の観光地に対する認識及び評価を把握するため、2019 年 11 月に楽天リサーチに委託し、ウェブアンケート調査を実施した。回答者は四国圏（徳島県、香川県、愛媛県、高知県の４県）在住者であり、合計で 500 名である。

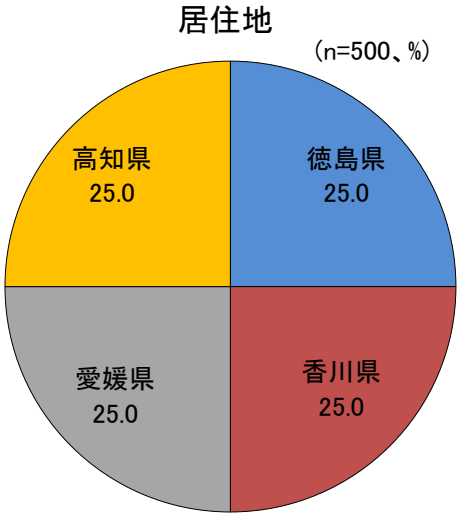
２）調査手法及びサンプル数

・実施日　　：2019 年 11 月 26 日～29 日

・調査手法　：インターネット調査（楽天インサイト）により実施

・サンプル数：四国圏 500 件

居住地	サンプル数	構成比(%)
徳島県	125	25.0
香川県	125	25.0
愛媛県	125	25.0
高知県	125	25.0
計	500	100.0



３）観光エリアの設定

・既存の調査と同様に、中国５県の観光動態調査で設定されているエリアをベースとして、観光入込客数の多い観光エリアを中心に、各県 10 エリア程度を設定した。

・観光エリアのイメージや内容をわかりやすくするため､観光エリアの名称だけでなく、そこに含まれる代表的観光資源について３つ程度付記した。

観光エリア及び代表的観光資源

鳥取県	１．**鳥取**（鳥取砂丘、浦富海岸、仁風閣など）
	２．**智頭**（石谷家住宅、若桜鉄道、氷ノ山など）
	３．**倉吉**（白壁土蔵の町並み、三徳山三仏寺など）
	４．**三朝温泉**
	５．**羽合**（羽合温泉、東郷温泉、燕趙園など）
	６．**北栄**（コナン通り、青山剛昌ふるさと館など）
	７．**大山**（大山、スキー場、植田正治写真美術館、とっとり花回廊など）
	８．**米子**（皆生温泉など）
	９．**境港**（水木しげるロード(記念館)など）
島根県	10．**松江**（松江城、小泉八雲旧居、堀川巡り、宍道湖の夕日など）
	11．**玉造温泉**
	12．**出雲**（出雲大社、一畑薬師、島根ワイナリー、日御碕灯台など）
	13．**奥出雲**（鬼の舌震、亀嵩温泉、絲原記念館（たたら製鉄）など）
	14．**安来**（足立美術館、清水寺など）
	15．**石見銀山**（石見銀山、三瓶山、温泉津温泉など）
	16．**浜田**（石見海浜公園、アクアス（水族館）など）
	17．**邑南**（香木の森公園、瑞穂ハイランド（スキー場）など）
	18．**津和野・益田**（太鼓谷稲成神社、安野光雅美術館、雪舟庭園など）
	19．**隠岐**（隠岐国分寺、玉若酢命神社、知夫赤壁など）
岡山県	20．**岡山**（後楽園、岡山城など）
	21．**吉備路**（吉備津神社、備中国分寺など）
	22．**倉敷**（美観地区、大原美術館など）
	23．**児島・玉野**（鷲羽山、瀬戸大橋架橋記念館、下津井、渋川海岸など）
	24．**備前**（閑谷学校、備前焼、日生諸島など）
	25．**牛窓**（牛窓オリーブ園、海水浴場など）
	26．**高梁**（備中松山城、吹屋ふるさと村など）
	27．**津山**（新庄がいせん桜、城東の町並みなど）
	28．**蒜山高原**
	29．**美作三湯**（湯原温泉、奥津温泉、湯郷温泉）

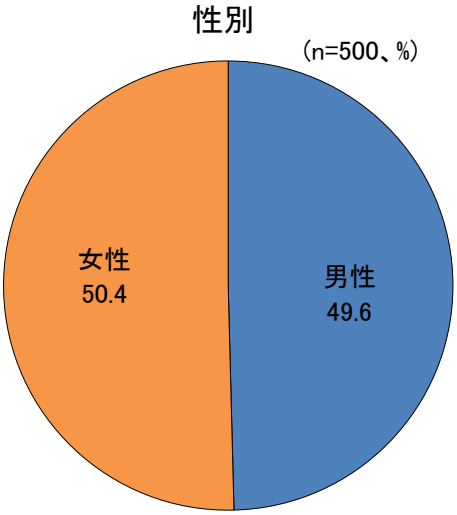
広島県	30. **広島**（平和公園、原爆ドーム、お好み村など）
	31. **宮島**（厳島神社、弥山、みやじマリン（水族館）など）
	32. **呉・江田島**（大和ミュージアム、旧海軍兵学校など）
	33. **竹原**（町並み保存地区、大久野島など）
	34. **尾道**（千光寺公園、社寺巡り、映画ロケ地など）
	35. **しまなみ海道**（耕三寺、平山郁夫美術館など）
	36. **福山**（鞆の浦、ばら公園、ふくやま美術館など）
	37. **三次・庄原**（三次ワイナリー、帝釈峡、国営備北丘陵公園、奥田元宋・小由女美術館など）
	38. **安芸高田**（土師ダム、神楽門前湯治村など）
	39. **芸北**（三段峡、温井ダム、スキー場など）
山口県	40. **下関**（海峡ゆめタワー、海響館(水族館)、唐戸市場、赤間神宮など）
	41. **山口**（サビエル記念聖堂、湯田温泉、雪舟庭、瑠璃光寺五重塔など）
	42. **秋吉台・秋芳洞**
	43. **萩**（松下村塾、松蔭神社、萩博物館など）
	44. **長門**（湯本温泉、青海島、金子みすゞ記念館、角島大橋など）
	45. **宇部・山陽小野田**（ときわ公園、焼野海岸、産業観光など）
	46. **防府**（防府天満宮、周防国分寺、毛利庭園など）
	47. **周南・下松・光**（笠戸島、回天記念館、室積海岸、虹が浜など）
	48. **柳井・周防大島**（白壁の町並み、片添ヶ浜など海水浴場、サザンセトなど）
	49. **岩国**（錦帯橋、岩国城、白蛇、美川ムーバレーなど）

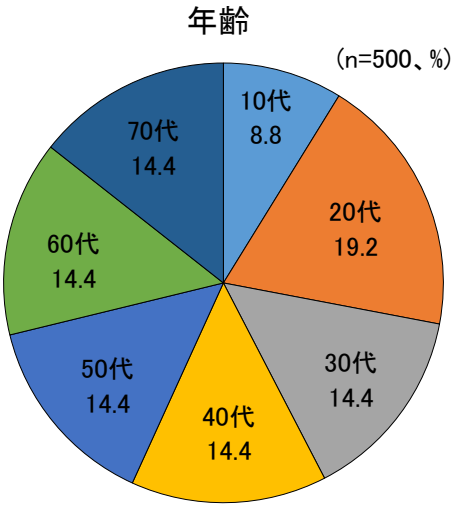
２．調査結果

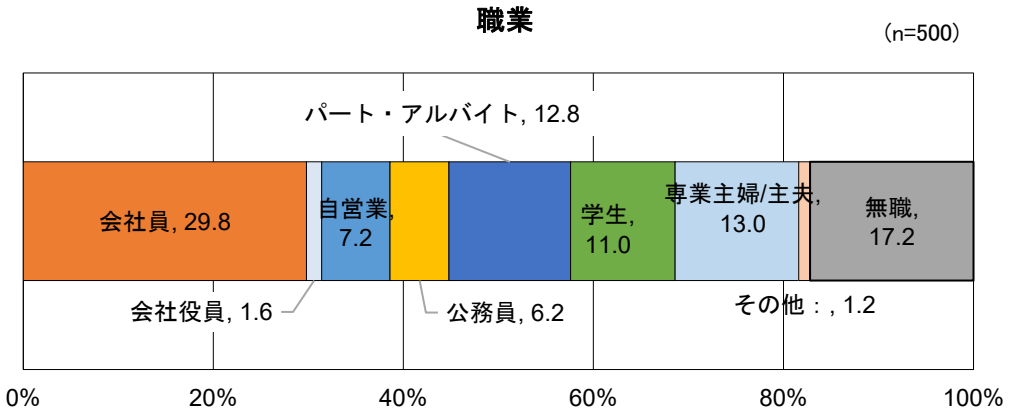
※以降の調査結果におけるグラフ数値は小数第二位を四捨五入したものである。

１）回答者属性

回答者の属性として、性別では女性が若干多く 50.4%、年代は基本的に均等にサンプル収取しているが 10 代の回収が少ないため 20 代サンプルを多く取得している。職業は会社員が 29.8%ともっとも多く、次いで専業主婦 13.0%、パート・アルバイト 12.8%となっている。





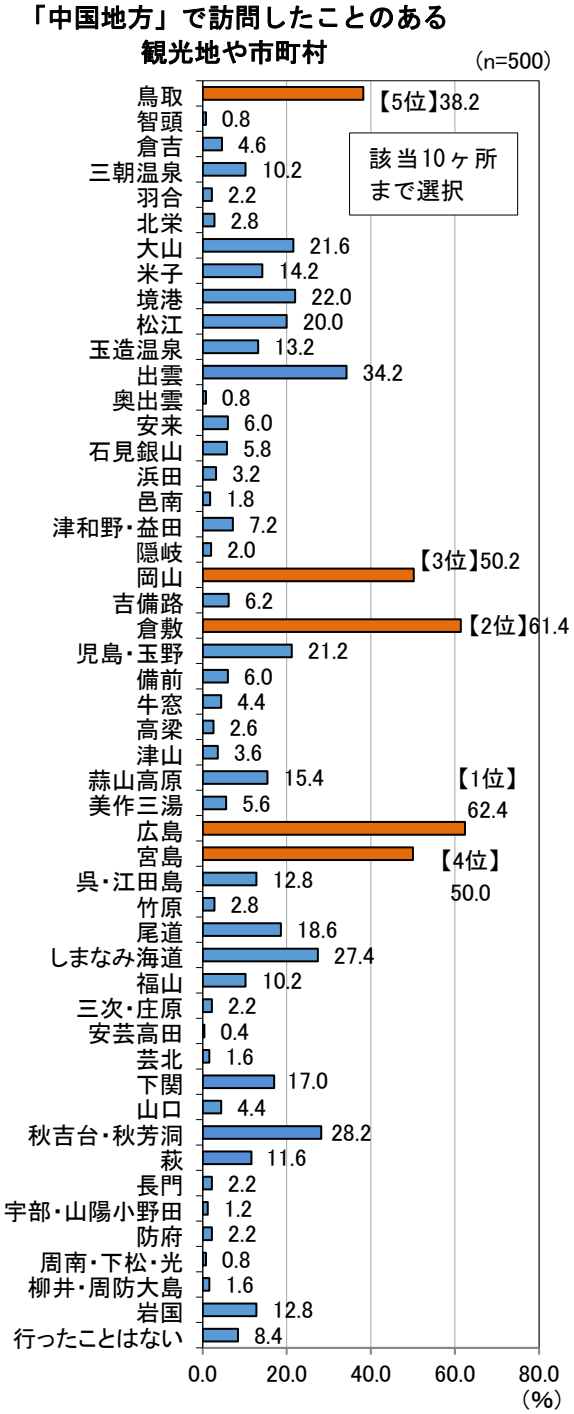


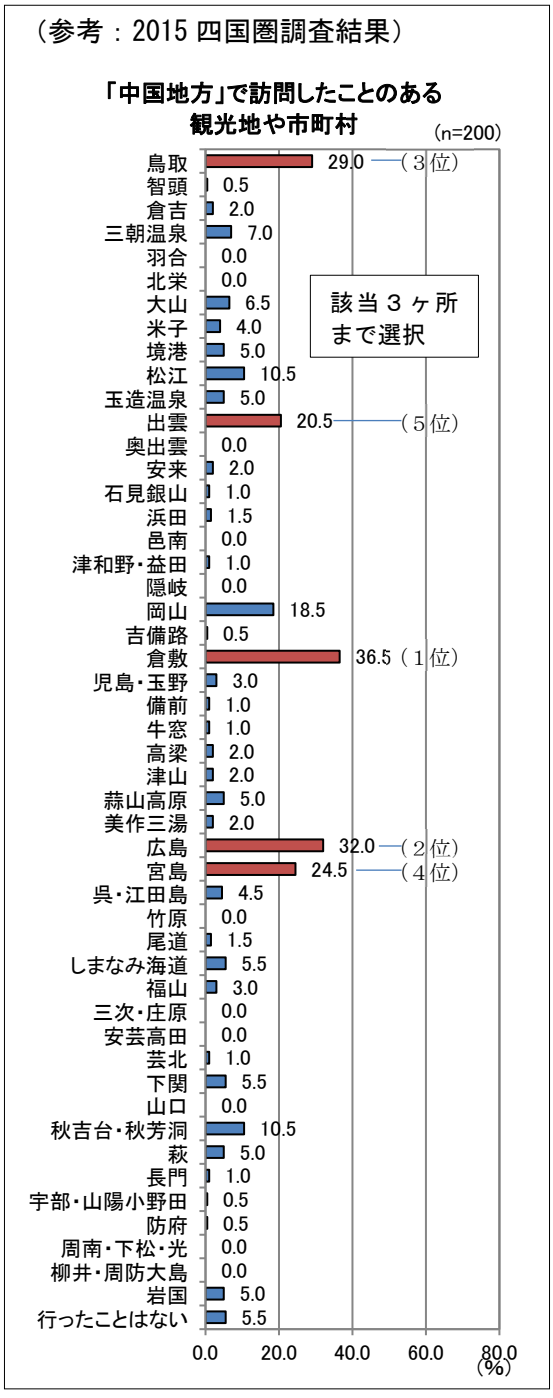
２）訪問経験

(1)観光エリア別・全体集計

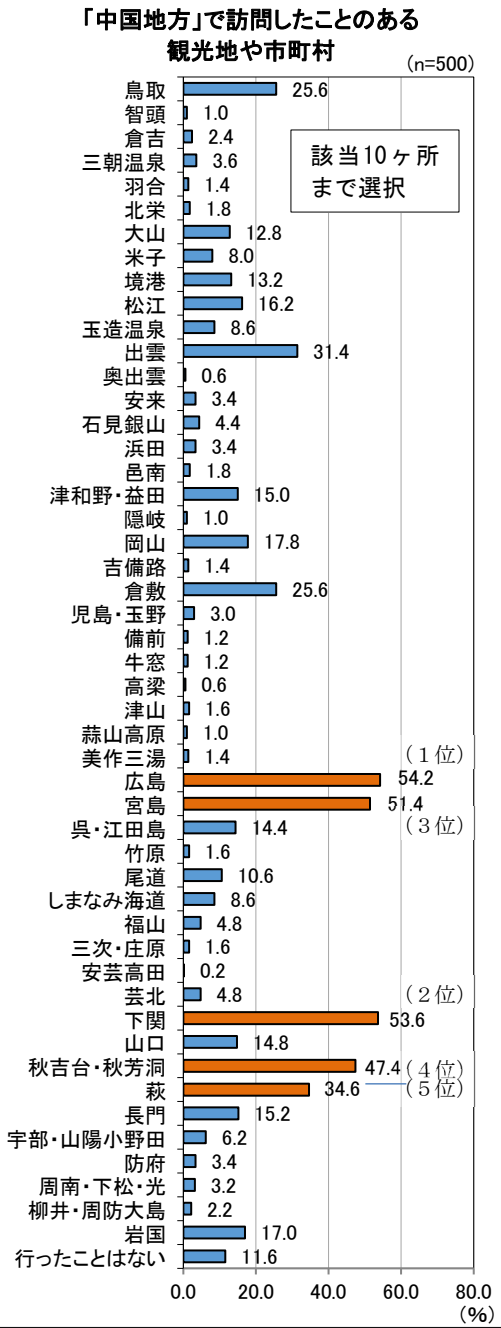
中国地方を 49 の観光エリアに分け、訪問したことのある観光地や市町村を 10 ヶ所まで聞いたところ、訪問した人が最も多かったのは広島（62.4%）であり、次いで倉敷（61.4%）、岡山（50.2%）、宮島（50.0%）の順で多かった。

※H29 年までの調査では、回答を「３ヶ所まで」としていたため、今回の調査では全体的に訪問割合が高くなっていることに留意が必要。

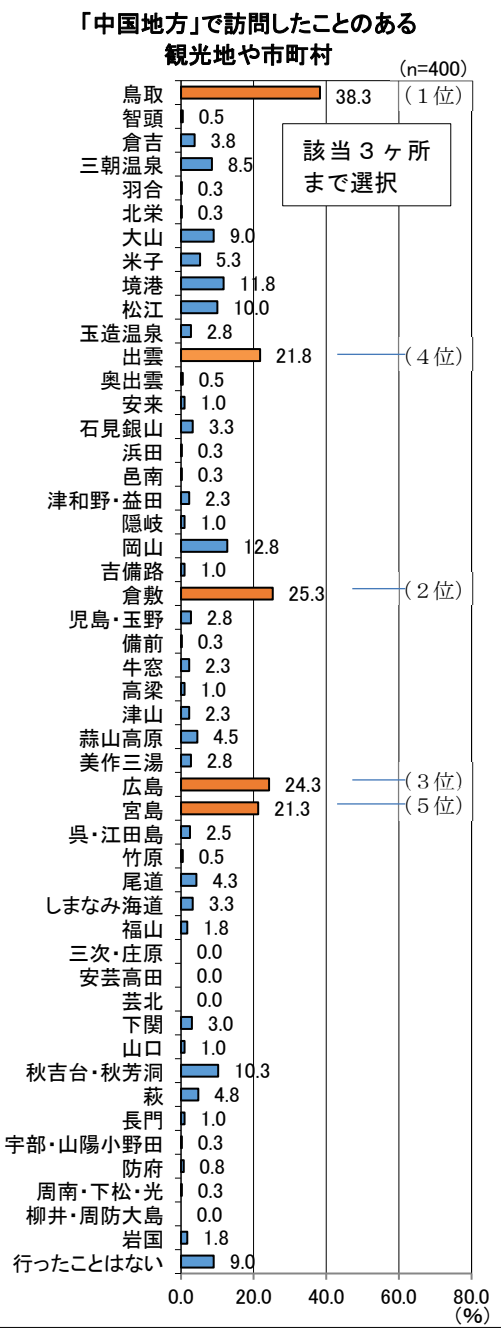




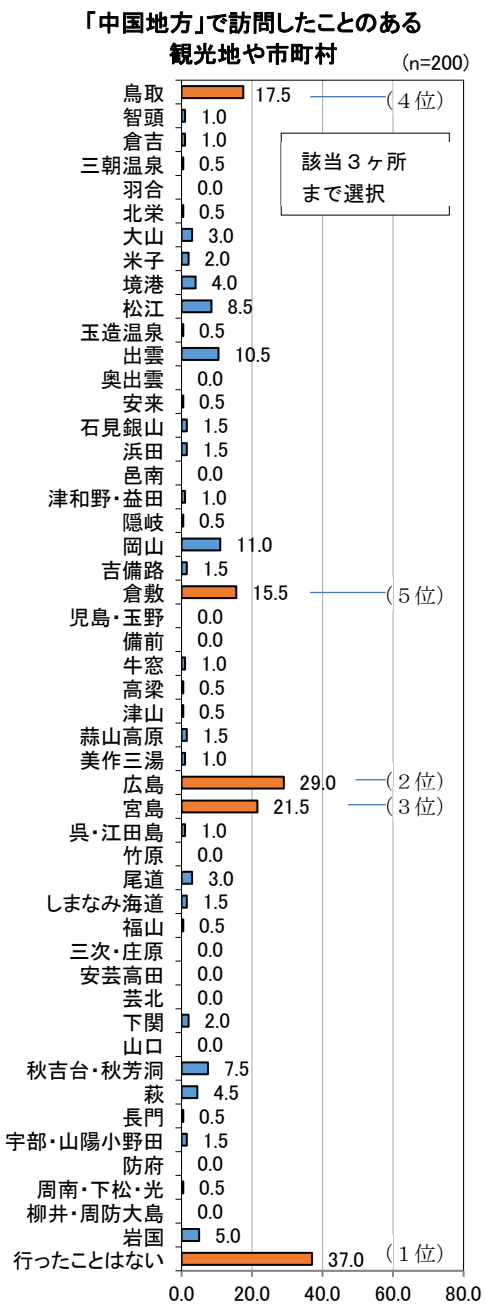
（参考：2018 九州圏調査結果）



（参考：2017 関西圏調査結果）



（参考：2016 首都圏調査結果）



(2) 居住県別集計

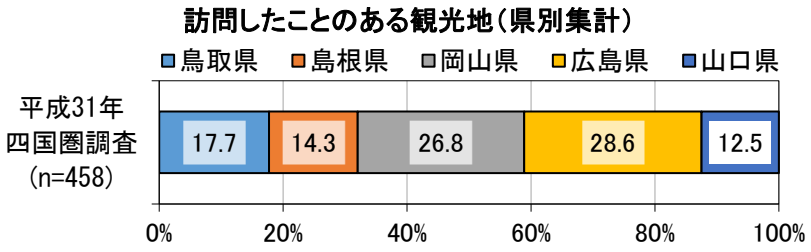
訪問経験を居住県別にみると、徳島県と香川県では倉敷が１位、愛媛県と高知県では広島が１位となっている。各県共通して５位以内に入っているのは広島、宮島、岡山、倉敷の４地域である。

徳島県(n=125)				香川県(n=125)			
		(人)	(%)			(人)	(%)
1 位	倉敷	71	56.8	1 位	倉敷	88	70.4
2 位	広島	67	53.6	2 位	岡山	74	59.2
3 位	宮島	61	48.8	3 位	広島	72	57.6
4 位	岡山	58	46.4	4 位	宮島	63	50.4
5 位	鳥取	50	40.0	5 位	鳥取	56	44.8

愛媛県(n=125)				高知県(n=125)			
		(人)	(%)			(人)	(%)
1 位	広島	94	75.2	1 位	広島	79	63.2
2 位	倉敷	73	58.4	2 位	倉敷	75	60.0
3 位	宮島	70	56.0	3 位	岡山	61	48.8
4 位	しまなみ海道	64	51.2	4 位	宮島	56	44.8
5 位	岡山	58	46.4	5 位	鳥取	44	35.2

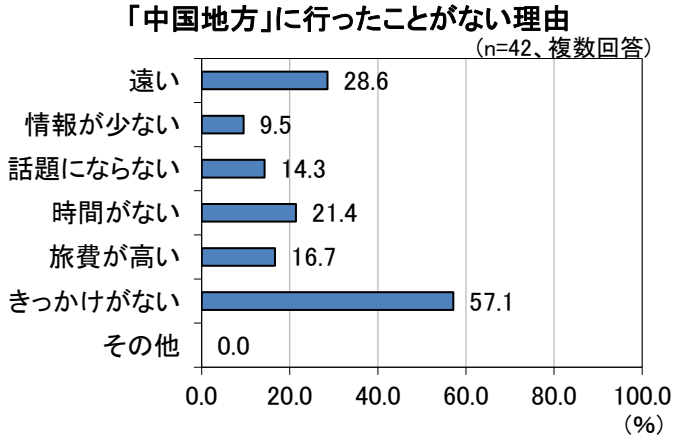
(3) 訪問県別集計

訪問したことのある観光地の回答を県別に合計したところ、広島県が 28.6%と最も多く、ついで岡山県 26.8%となっており、瀬戸大橋、瀬戸内しまなみ海道や航路で繋がっている地域の訪問割合が高くなっている。

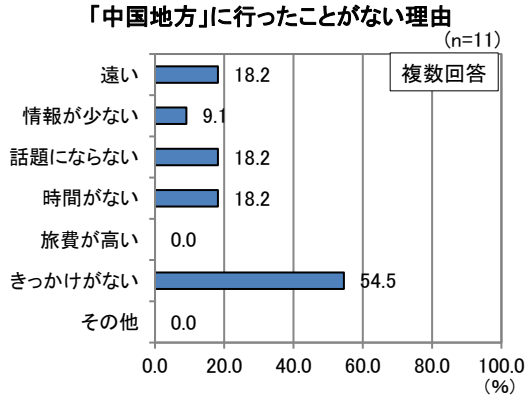


(4)未訪問理由

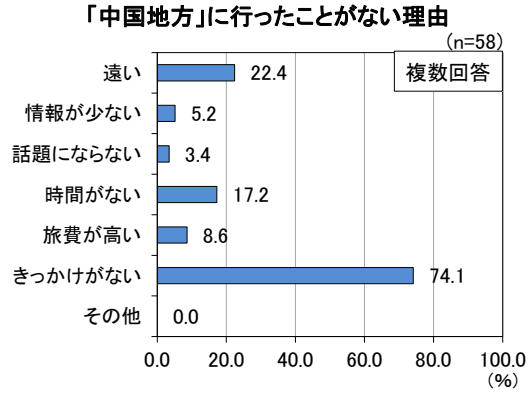
本調査において中国地方に行ったことがない人は8.4%（42人）であったが、それらの回答者に対しその理由を聞いたところ、「きっかけがない」との回答が57.1%と最も多かった。



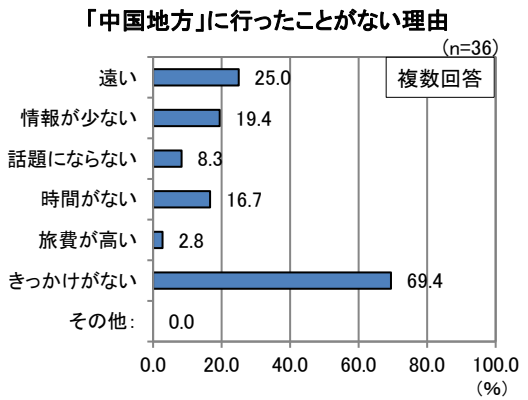
（参考：2015 四国圏調査結果）



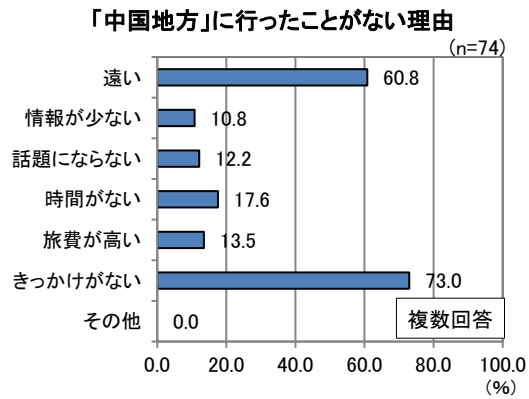
（参考：2018 九州圏調査結果）



（参考：2017 関西圏調査結果）



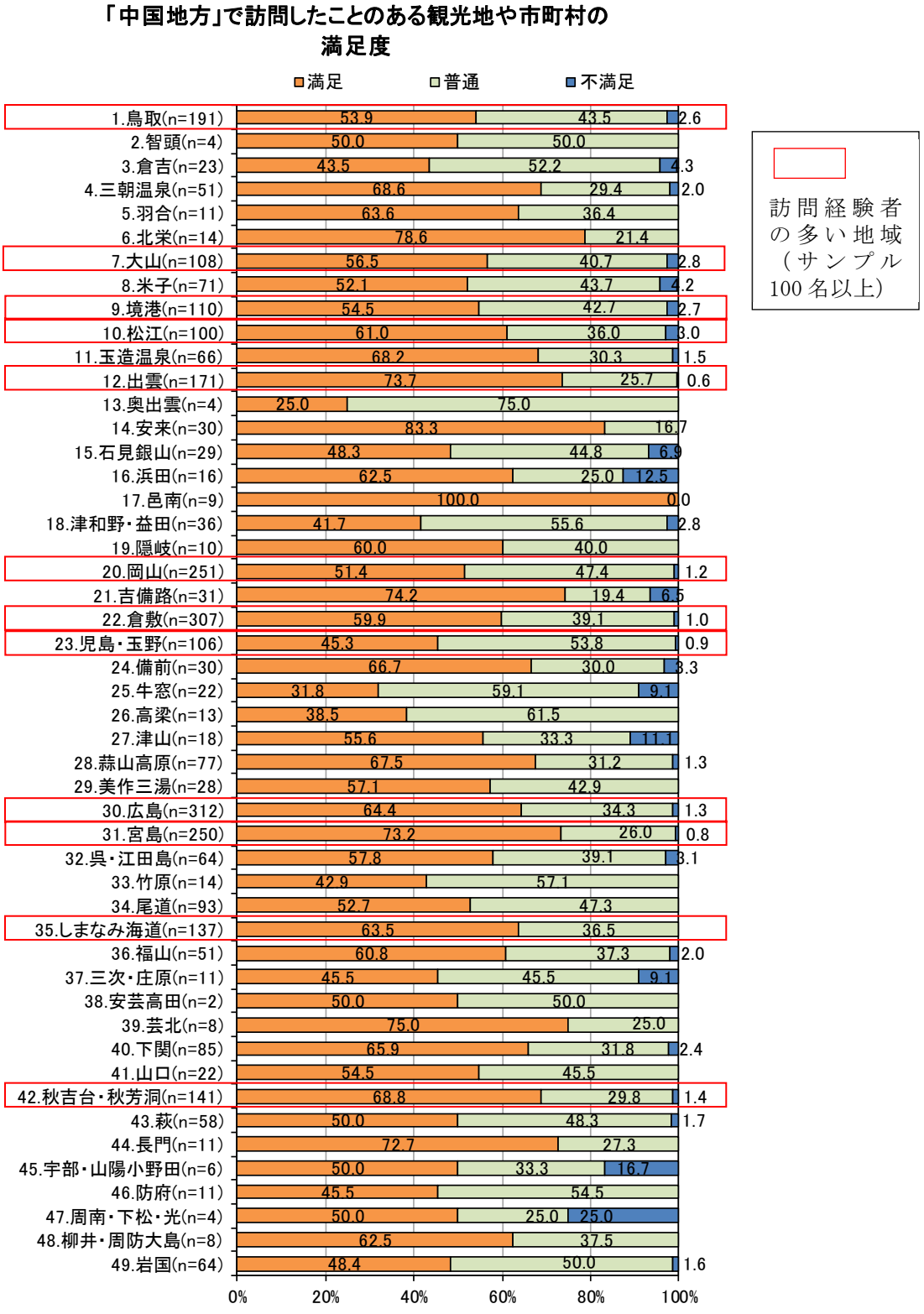
（参考：2016 首都圏調査結果）



３）満足度

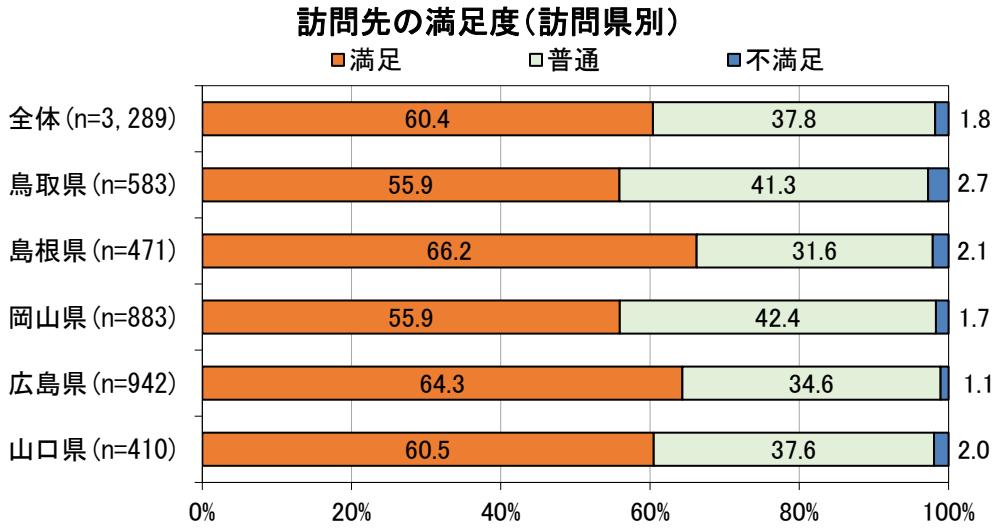
(1)観光エリア別・全体集計

訪問したことのある観光地や市町村に対する満足度を聞いたところ、以下のような結果となった。訪問経験者の多い地域（サンプル 100 名以上、以下赤枠囲み部分）の「満足」の割合に着目すると、出雲、宮島、秋吉台・秋芳洞、広島、しまなみ海道で高くなっている。

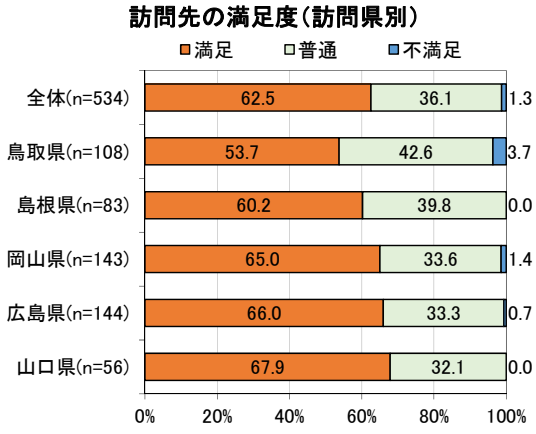


(2) 訪問県別集計

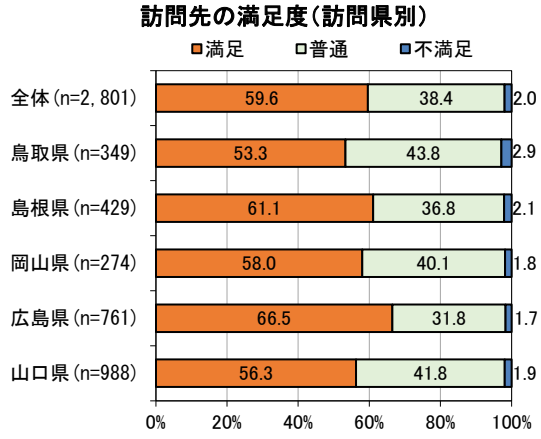
上記の各地の満足度を集計したところ、全体の「満足」は 60.4%と高く、「不満足」は 1.8%と少ない。訪問県別にみると、各県とも「満足」という評価が過半数となっている。



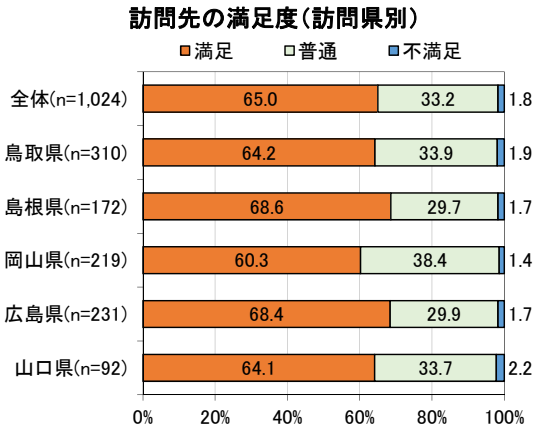
(参考:2015 四国圏調査結果)



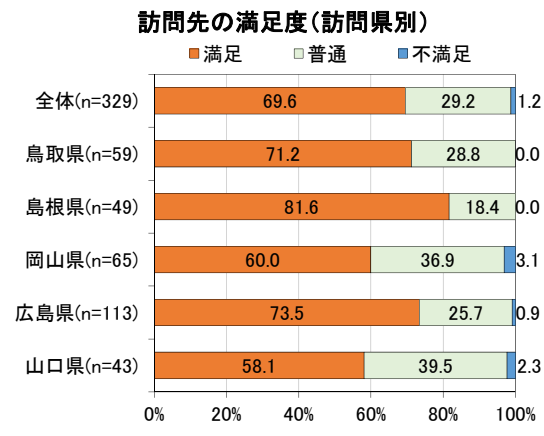
(参考:2018 九州圏調査結果)



(参考:2017 関西圏調査結果)



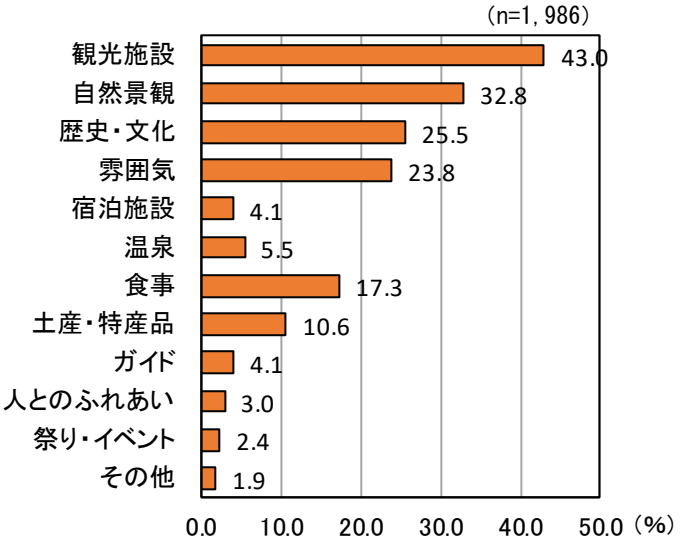
(参考:2016 首都圏調査結果)



(3)満足度の理由

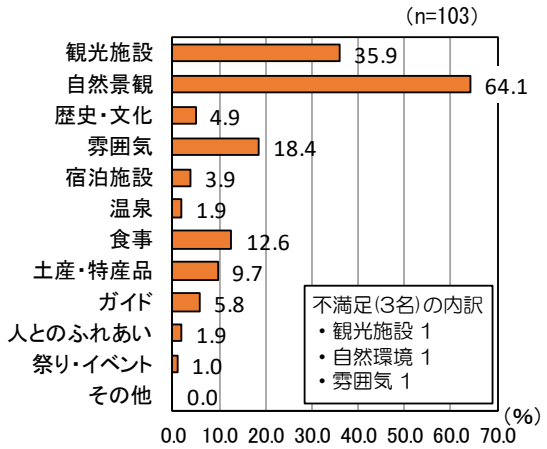
前問の満足度評価の理由をみると、中国地方全体としては美術館・博物館や水族館などの「観光施設」が 43.0%と最も高く、ついで「自然景観」が 32.8%、「歴史・文化」が 25.5%となっている。これは首都圏、関西圏、九州圏の調査と異なる傾向であり、四国圏から観た中国地方のセールスポイントの最大要素として「観光施設」が挙げられ、次いで自然景観、歴史・文化、雰囲気を含めて中国地方の観光の魅力が形成されていることがわかる。

満足度の理由(中国地方全体)

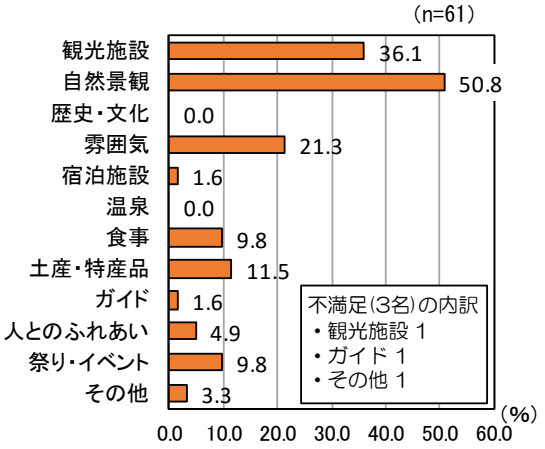


訪問経験者の多い地域(サンプル 100 名以上)について、それぞれ満足度評価の理由は以下のとおりである。鳥取、大山、しまなみ海道、秋吉台・秋芳洞では「自然景観」の回答が多いなど、各地域の特色が挙げられている。

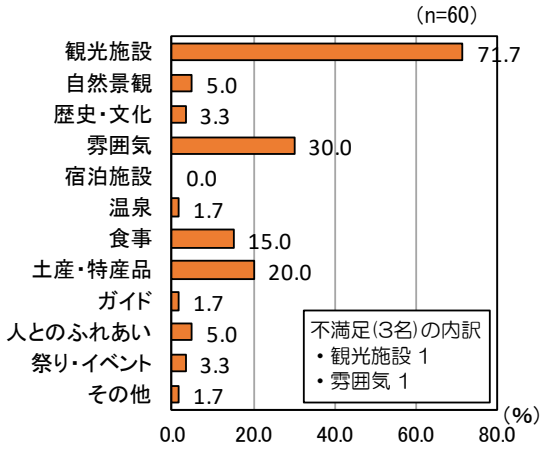
満足度の理由(鳥取)



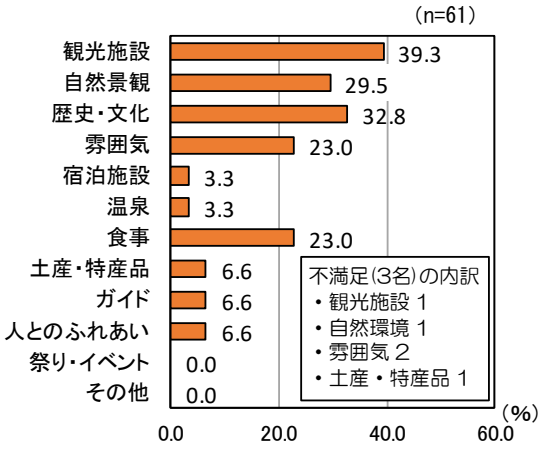
満足度の理由(大山)



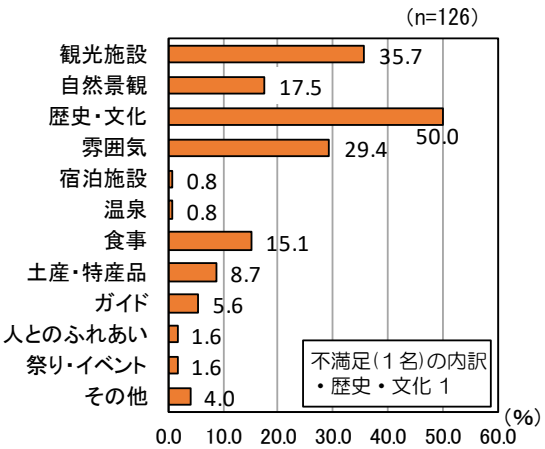
満足度の理由（境港）



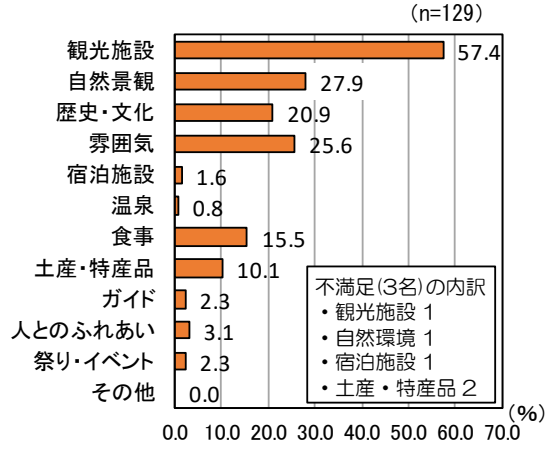
満足度の理由（松江）



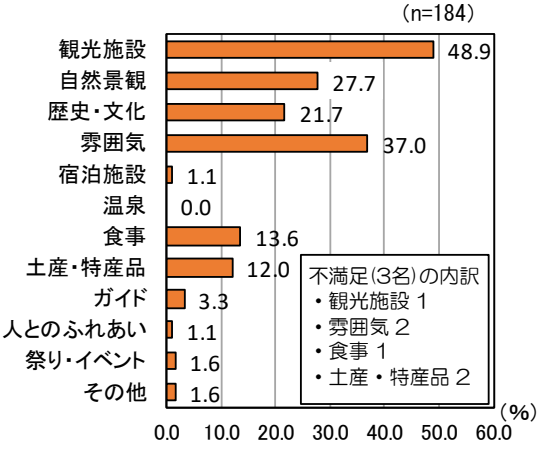
満足度の理由（出雲）



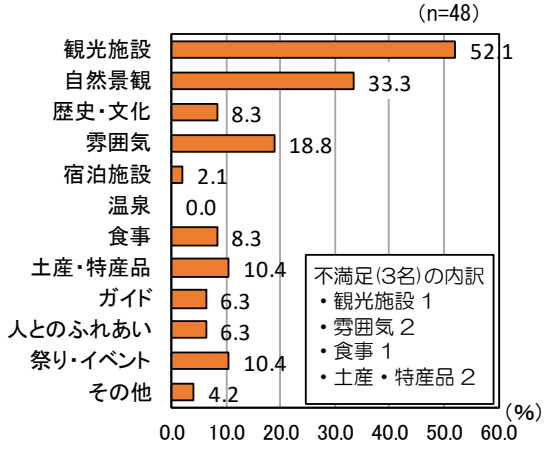
満足度の理由（岡山）



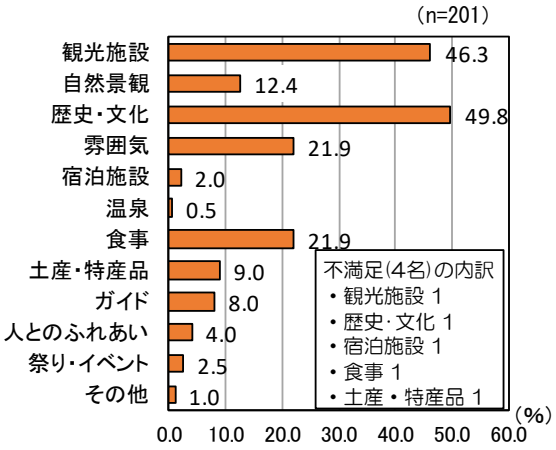
満足度の理由（倉敷）



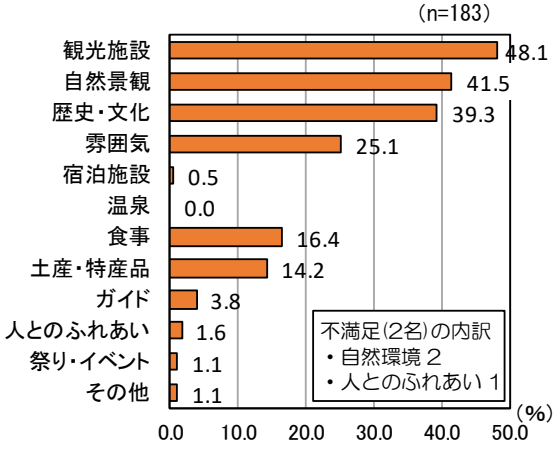
満足度の理由（児島・玉野）



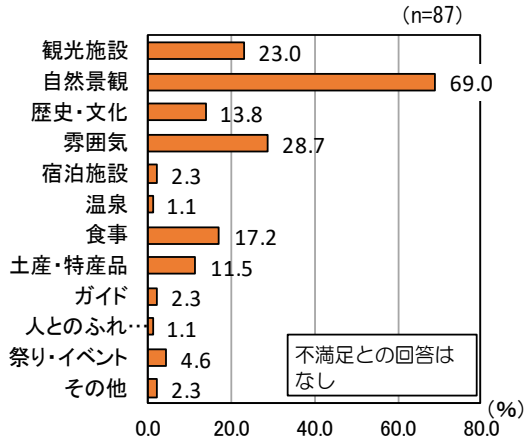
満足度の理由（広島）



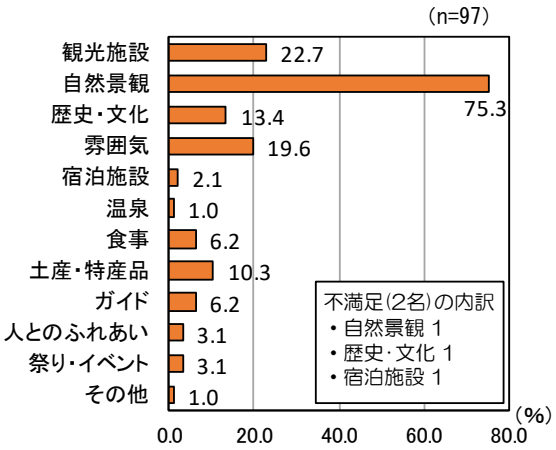
満足度の理由（宮島）



満足度の理由（しまなみ海道）

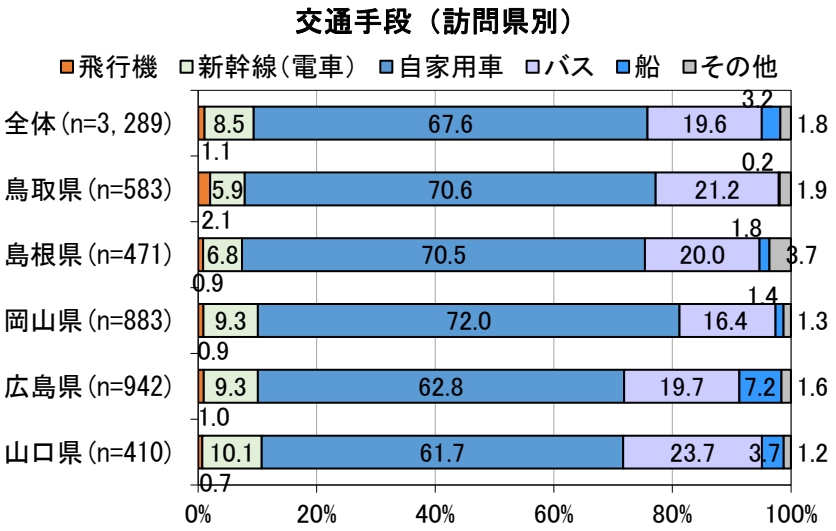


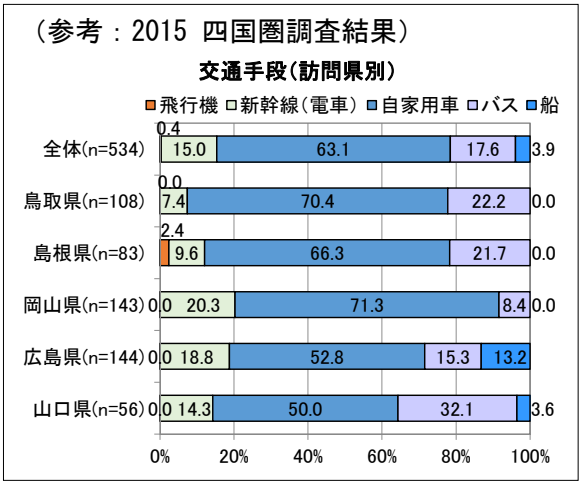
満足度の理由（秋吉台・秋芳洞）

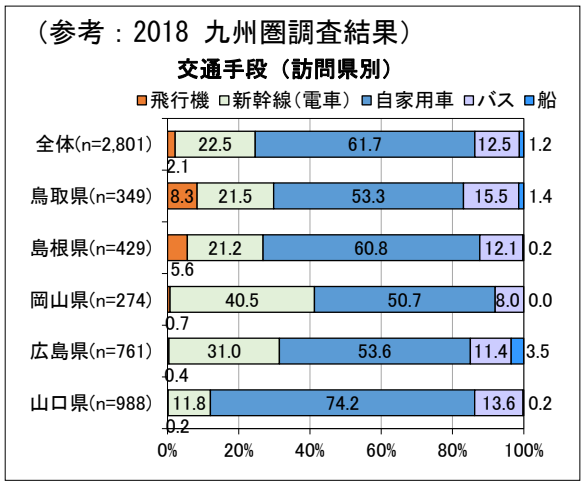


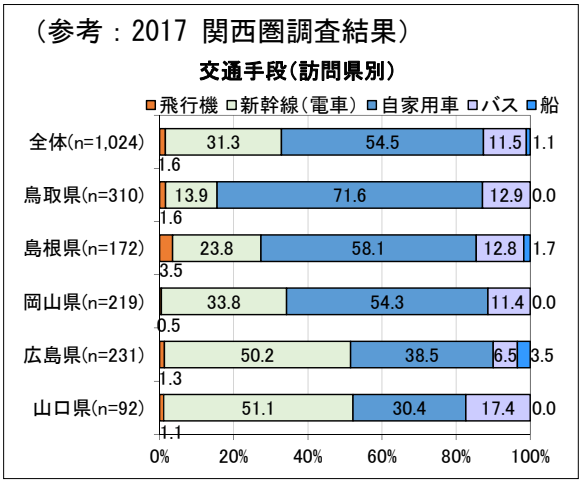
４）交通手段

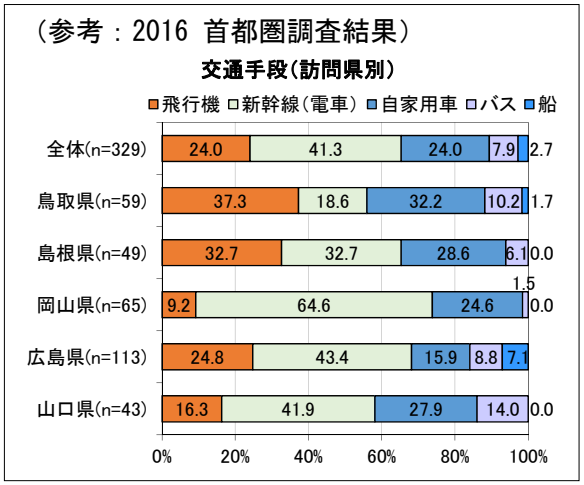
中国地方に訪問したことがある人を対象にして、主な交通手段をみると、「自家用車」が67.6%と最も多く、次いで「バス」が17.6%となっている。訪問県別にみると、広島県は「船」の割合が 7.2%と他県に比べて多いことが特徴となっている。また、他の圏域と比較すると「バス」の割合が多いことが特徴である。









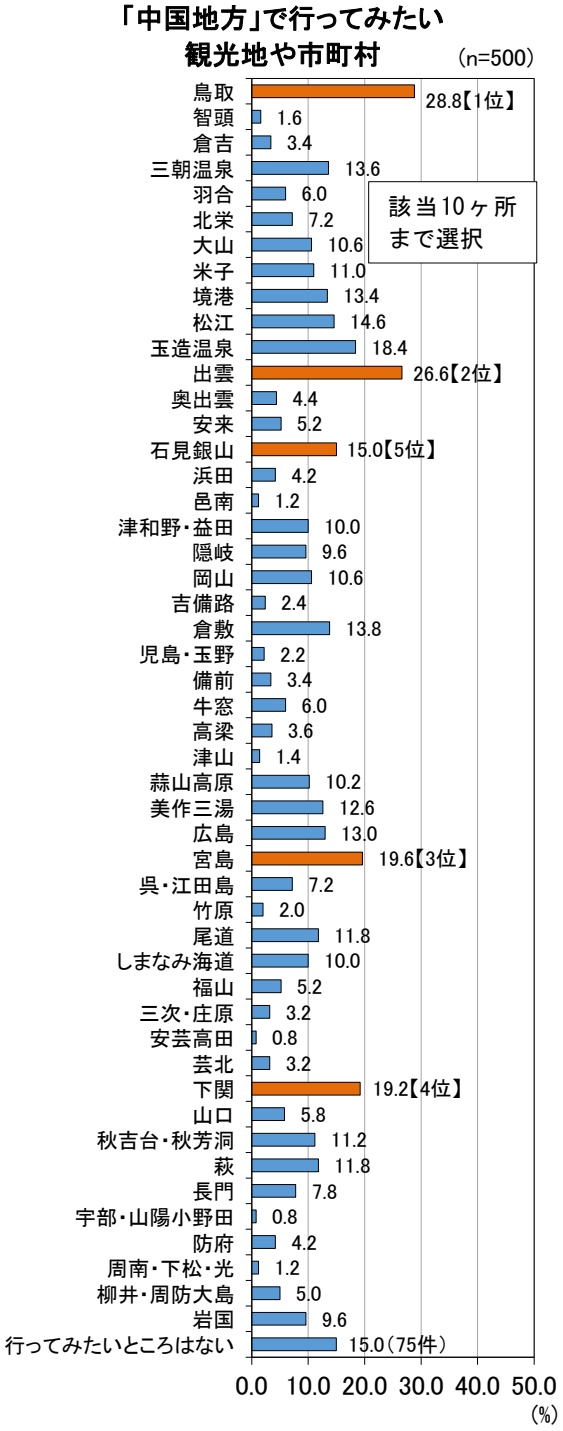


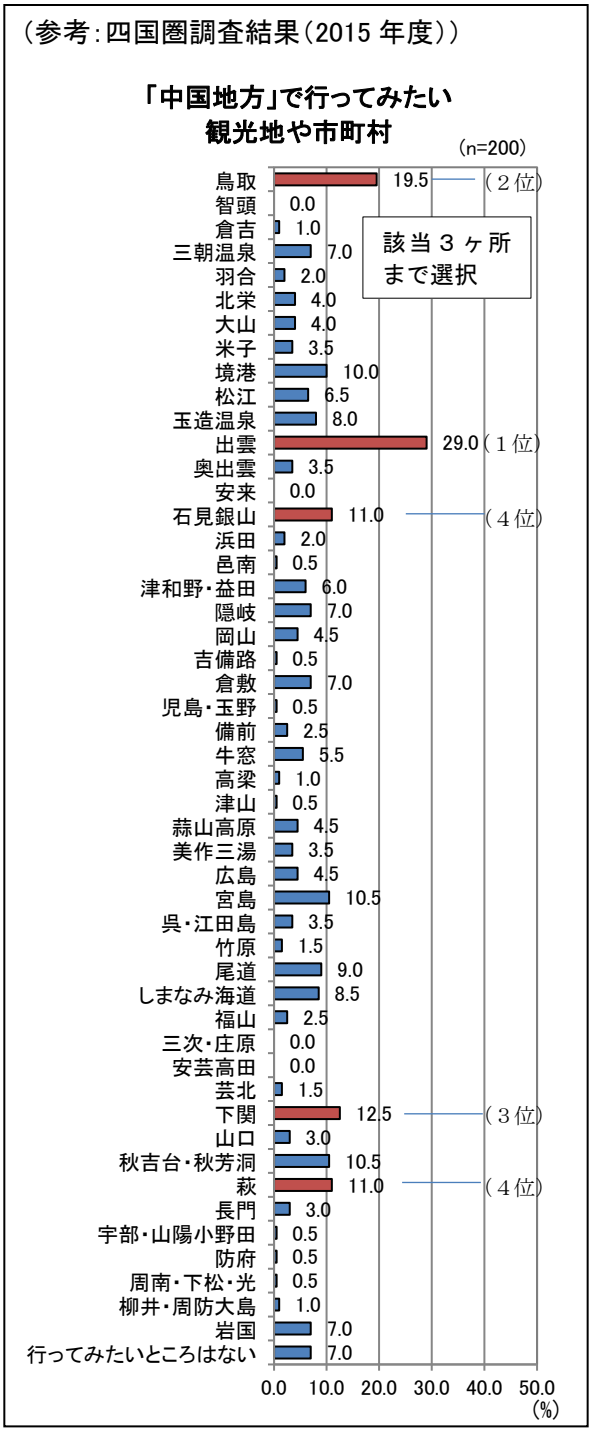
５）訪問希望地

(1)観光エリア別・全体集計

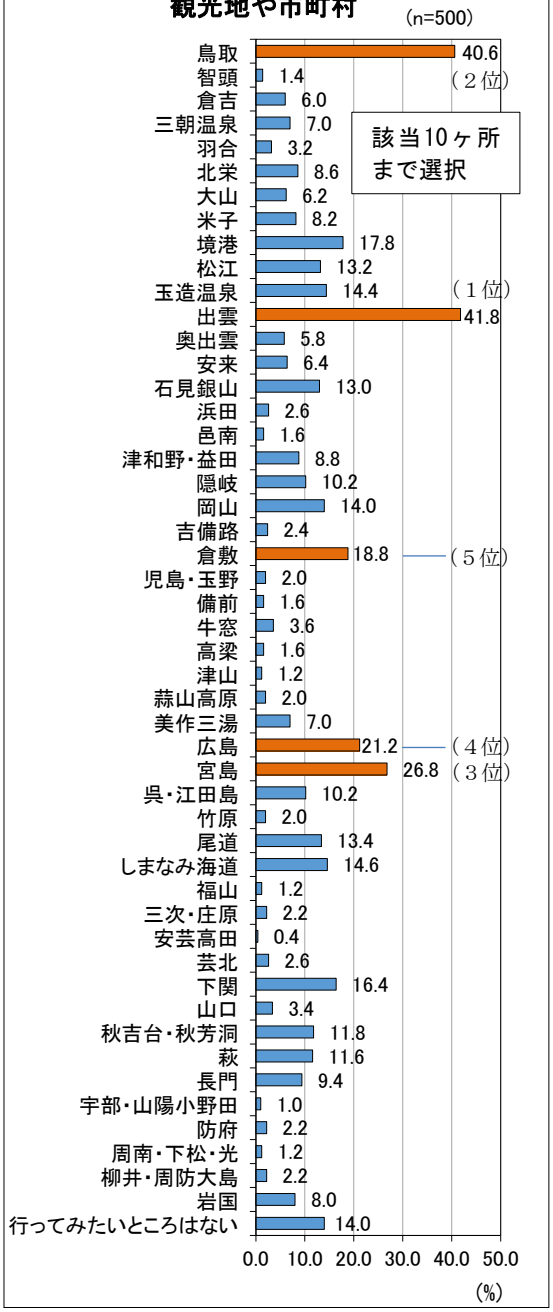
中国地方を 49 の観光エリアに分け、訪問してみたい観光地や市町村を 10 ヶ所まで聞いたところ、最も多かったのは鳥取（28.8%）であり、次いで出雲、宮島、下関となっている。前回調査と比較して、山陰地域の訪問希望が高まっている。

※H29 年までの調査では、回答を「３ヶ所まで」としていたため、今回の調査では全体的に訪問希望割合が高くなっていることに留意が必要。

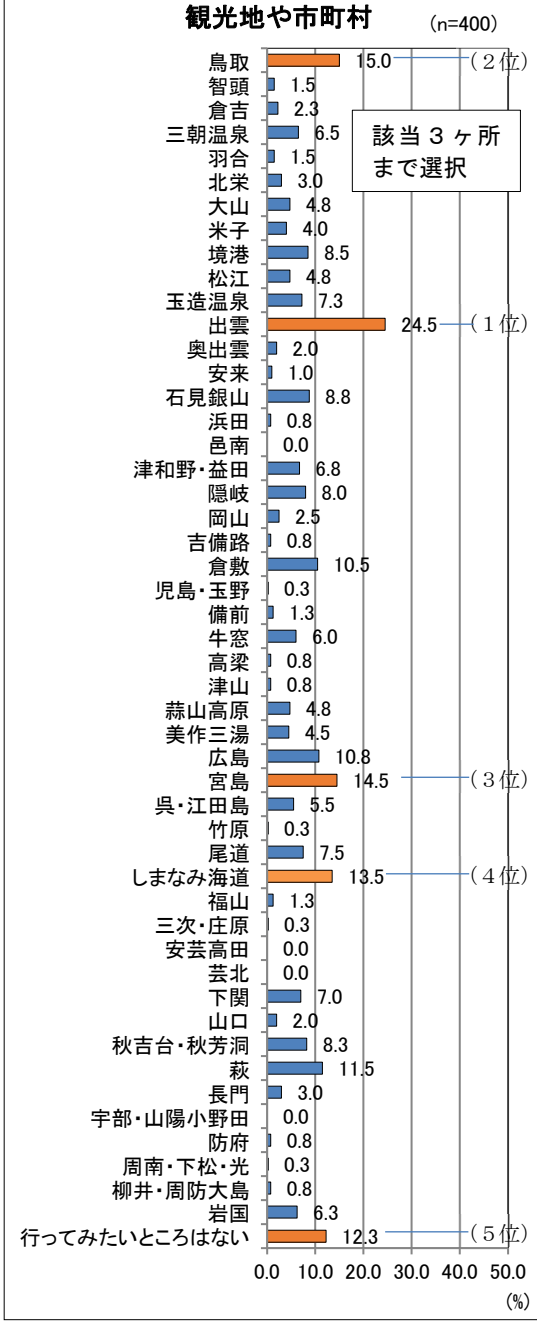




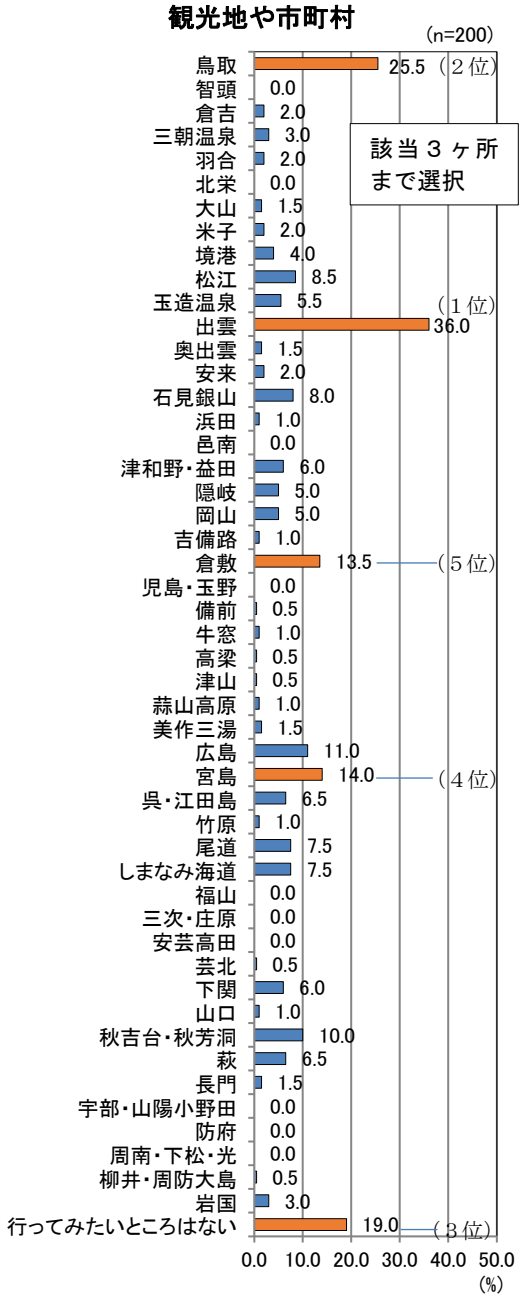
（参考：2018 九州圏調査結果）



（参考：2017 関西圏調査結果）



（参考：2016 首都圏調査結果）



(2) 居住県別集計

居住県別にみると、愛媛県と香川県では鳥取が１位、徳島県と高知県では出雲が１位となっており、前回調査と同様の傾向となっている。

徳島県（n=125）		（人）	（%）
1 位	出雲	40	32.0
2 位	鳥取	36	28.8
3 位	宮島	32	25.6
4 位	下関	27	21.6
5 位	広島	24	19.2

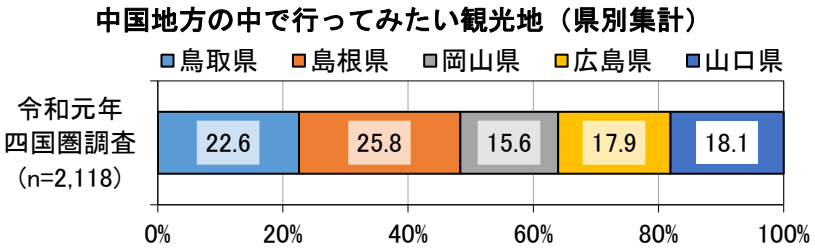
香川県（n=125）		（人）	（%）
1 位	鳥取	27	21.6
2 位	出雲	26	20.8
3 位	宮島	21	16.8
4 位	石見銀山	20	16.0
5 位	下関	19	15.2

愛媛県（n=125）		（人）	（%）
1 位	鳥取	50	40.0
2 位	出雲	32	25.6
3 位	玉造温泉	28	22.4
	下関	28	22.4
5 位	宮島	26	20.8

高知県（n=125）		（人）	（%）
1 位	出雲	35	28.0
2 位	鳥取	31	24.8
3 位	玉造温泉	29	23.2
4 位	境港	22	17.6
	下関	22	17.6

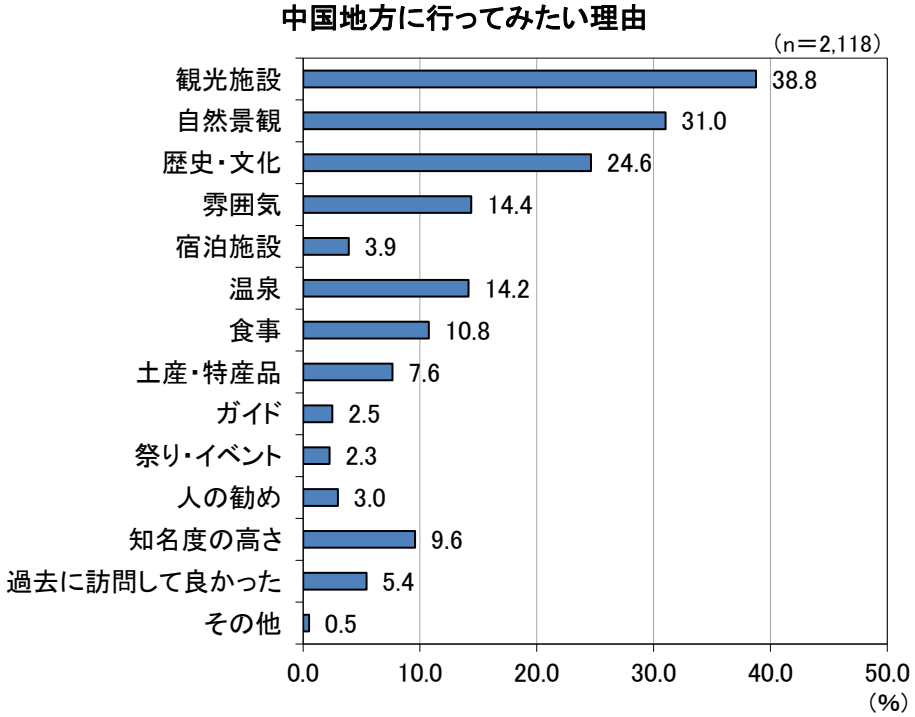
(3) 訪問県別集計

上記の回答を県別に合計したところ、島根県が 25.8%と最も多く、ついで鳥取県 22.6%、山口県 18.1%となっており、山陰地方への訪問希望が高くなっている。

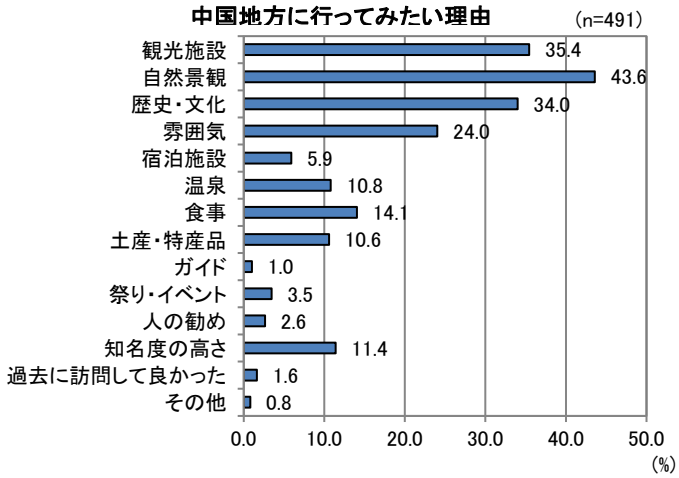


(4)訪問希望の理由

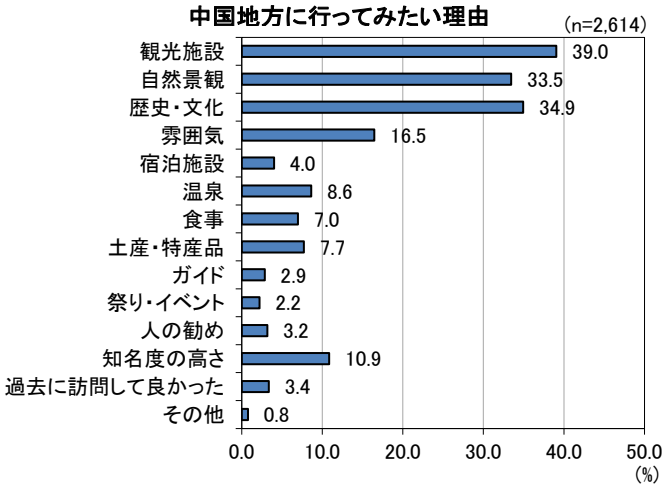
中国地方の各観光地（県）に行ってみたい理由としては「観光施設」が 38.8%と最も多くなっている。次いで「自然景観」「歴史・文化」の割合が高く、上位３要素が中国地方の観光の魅力とイメージを形成しているといえる前回調査と比較して、「観光施設」の割合が増加した一方、「自然景観」は大きく減少している。また、宿泊施設、温泉、食事、土産・特産品、ガイド、祭り・イベント等は他の要素よりも大きく低く、今後のイメージ強化が必要である。



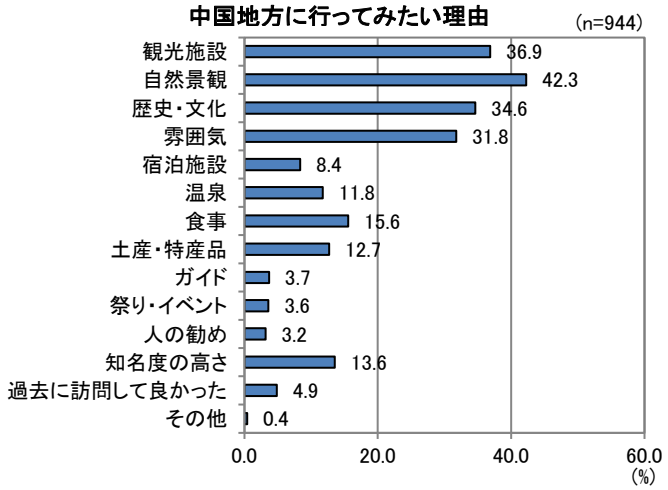
（参考：2015 四国圏調査結果）



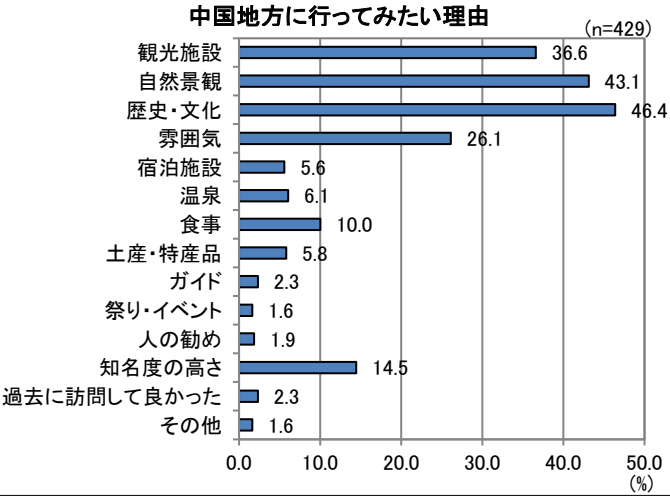
（参考：2018 九州圏調査結果）



（参考：2017 関西圏調査結果）

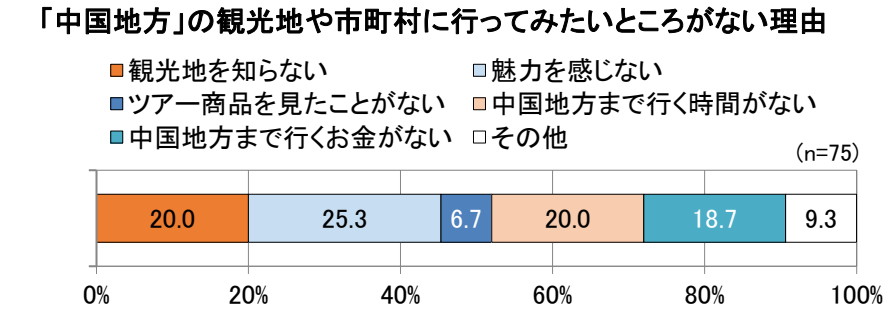


（参考：2016 首都圏調査結果）

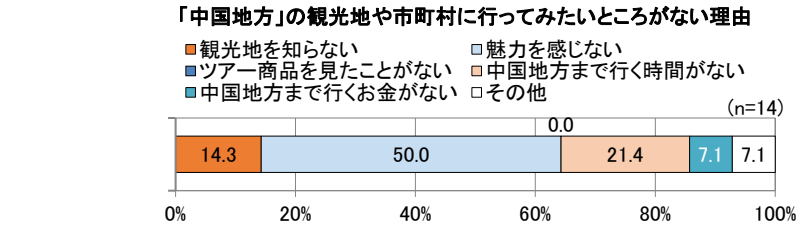


(5) 訪問希望が無い理由

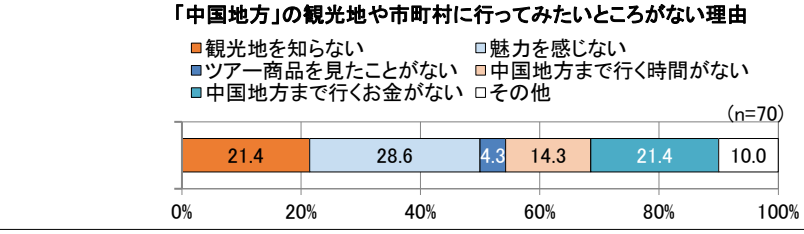
「行ってみたいところがない」と回答した人は 15.0% (75 件)。その理由としては、「魅力を感じない」が 25.3%、「観光地を知らない」「中国地方まで行く時間がない」が 20.0%となっている。前回調査と比べて「魅力を感じない」割合が大きく減少し、「中国地方まで行くお金がない」割合が大きく増加している。



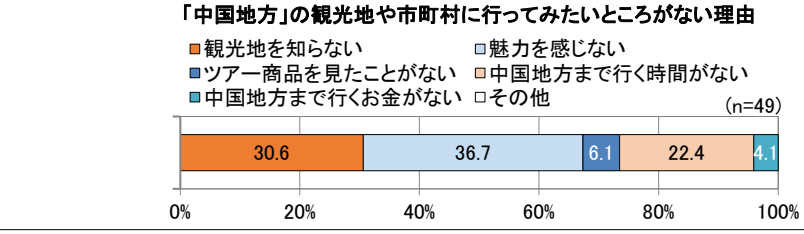
（参考：2015 四国圏調査結果）



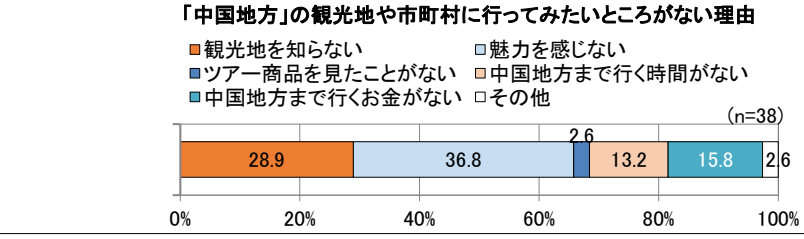
（参考：2018 九州圏調査結果）



（参考：2017 関西圏調査結果）



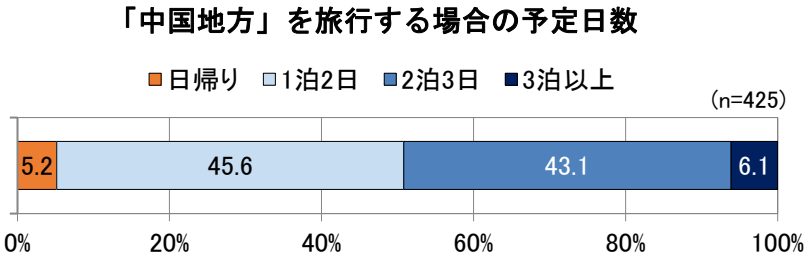
（参考：2016 首都圏調査結果）



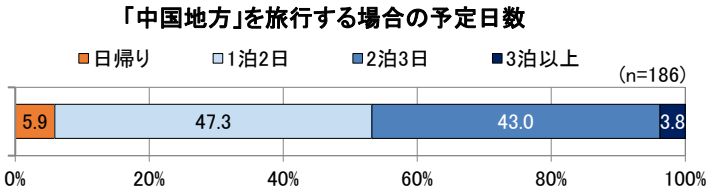
６）中国地方への旅行

(1) 予定日数

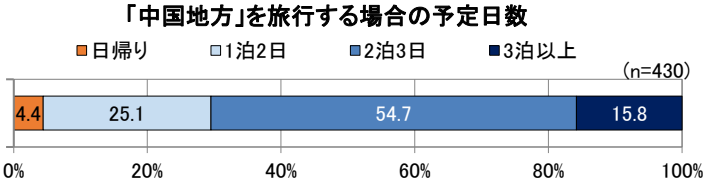
中国地方を旅行する場合の予定日数は、「１泊２日」が 45.6%、「２泊３日」が 43.1%と前回調査と同様の結果となった。



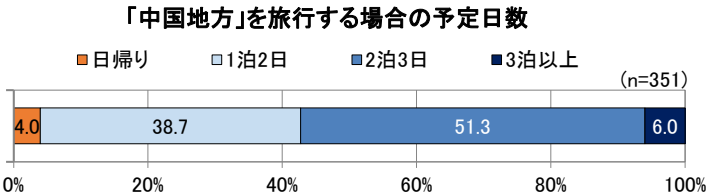
（参考：2015 四国圏調査結果）



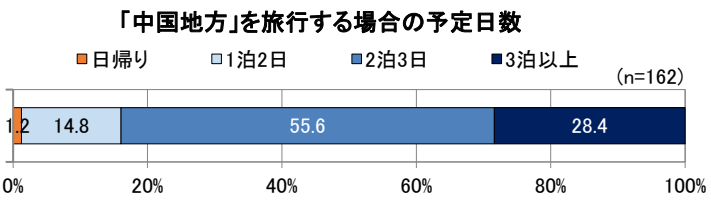
（参考：2018 九州圏調査結果）



（参考：2017 関西圏調査結果）

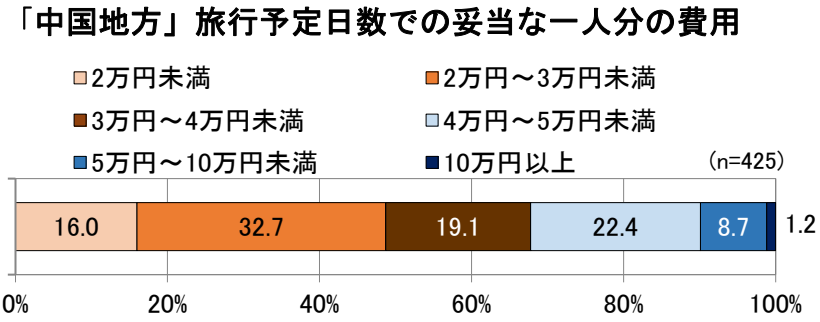


（参考：2016 首都圏調査結果）

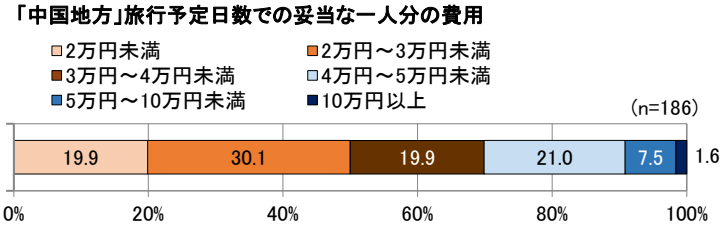


(2) 費用

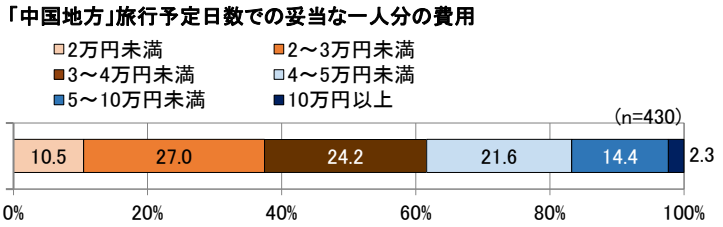
中国地方を旅行する場合の費用は、「２～３万円」32.7%と多くなっているほか、「３～４万円」、「４～５万円」もそれぞれ 20%程度あり、交通手段や日程等により旅行費用に差が生じていると思われる。



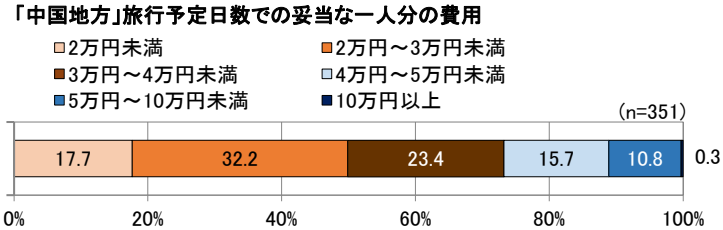
（参考：2015 四国圏調査結果）



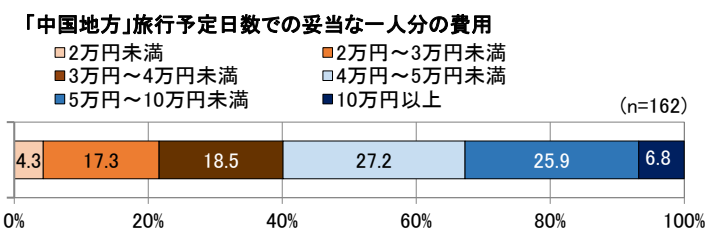
（参考：2018 九州圏調査結果）



（参考：2017 関西圏調査結果）

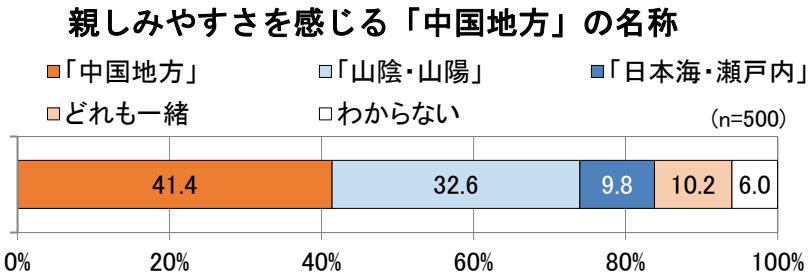


（参考：2016 首都圏調査結果）

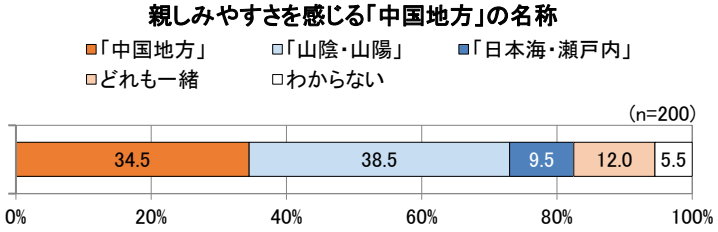


７）中国地方の名称

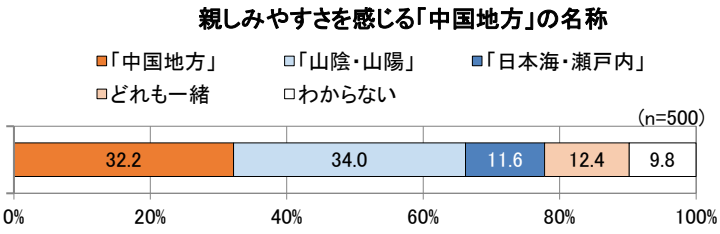
親しみやすさを感じる中国地方の名称を聞いたところ、「中国地方」（41.4%）が最も多く、次いで「山陰・山陽」（32.62%）が多かった。



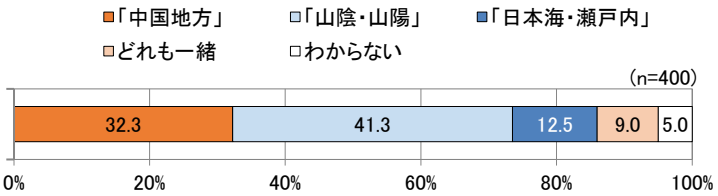
（参考：2015 四国圏調査結果）



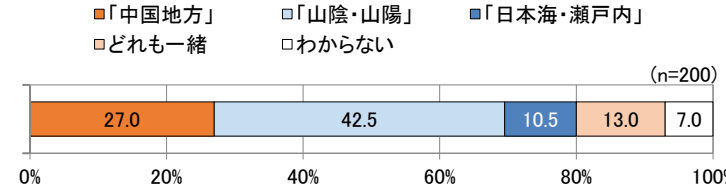
（参考：2018 九州圏調査結果）



（参考：2017 関西圏調査結果）



（参考：2016 首都圏調査結果）



８）中国地方のイメージ

中国地方のイメージについて自由に記載して頂いたところ、自然豊かなイメージが 73 件で最も多く、その他に、食べ物や観光地・温泉に関する記載が多かった（食べ物 28 件、観光地・温泉 25 件)。

＜自然が多いイメージ（自然が豊富・海がきれい等）＞　73 件

性別	年代	自由記述内容
男性 32 件	20 代	自然環境が良くそれに伴ったご当地の料理があるイメージ
		自然の景観が綺麗なイメージ。なので、都会と真逆。
		瀬戸内海
		景観がよく、魚介のおいしい料理がある
		自然豊か、交通の便が良くない
		瀬戸内海は海が綺麗で、中国地方全体的に自然が多いイメージ
		自然が美しい
		自然豊か
		波がない
		自然が豊か、比較的温暖
		自然豊か
	30 代	自然豊かな場所がみられていい
		自然がきれい
		自然豊か
		中国山地の山と温泉。
		自然が多い
		自然が豊か
		自然豊かな観光地が多い
		自然が豊かで癒される
	40 代	海と山
		自然が多い
	50 代	自然と歴史
		自然環境
		自然が豊か
		海がきれい
		景色の綺麗な場所が多い。
	60 代	自然がたくさんある
		山並みがなだらかで、自然も人もまあるい感じがして、ゆったり、のんびりしている。
	70 代	自然が豊か
		自然、歴史
		瀬戸内海がすばらしい
		自然や温泉が豊かな
女性 41 件	19 歳以下	山と海
		自然が豊か
		瀬戸内側なので海が綺麗、食べ物が美味しい
		海が近くで綺麗である
		自然豊か
		自然が多い
	20 代	自然
		瀬戸内海
		自然の美しさ、歴史のある土地が多い、食べ物が美味しそう
		自然穏やか
		自然が豊か

		自然が多い
	30 代	うみがきれい
		海がきれい
		北方面は日本海で海が綺麗、冬は雪が積もる、カニがおいしい
		自然
		海も山もある
		豊かな自然と豊富な史跡
		自然が多い
	40 代	自然豊かで食べ物が美味しい
		自然が豊か
		自然が満喫できる
		山と海
		広い、雪が降る
	50 代	瀬戸内の景色と海産物
		自然が豊かで文化と歴史がある
		自然が豊か
	60 代	自然ゆたか
		自然環境が豊富
		海がきれい
		山が多くて自然豊かであり、食事も美味しい
		瀬戸内海と日本海に挟まれ海の幸、山の幸に恵まれ気候もまあまあ過ごしやすそう。
		景色を楽しめ美味しい物を頂けそう。
		自然が残っている
		瀬戸内から中国山地、日本海といろいろな景色をたのしめる。
	70 代	自然がいっぱい
		景観が美しく自然環境も良く食事も美味しかったです。
		美しい自然を観光したい
		瀬戸内海
		自然豊か
		自然豊か

＜食べ物に関するイメージ＞　28 件

性別	年代	自由記述内容
男性 15 件	19 歳以下	蟹
		魚介類
		魚がとれる
	20 代	料理がおいしそう
		海の幸
		魚介類が美味しい
		食事、観光に見所がたくさんある
		食事が楽しみ
	30 代	日本酒がおいしい。
		山が多いが、北に行くと海鮮が美味しい。
		日本海側は海鮮が美味しい
		瀬戸内海の海産物
	40 代	食べ放題が美味しい
		魚が美味しい
	70 代	食事がおいしい、自然が美しい
女性 13 件	20 代	海の幸を堪能できそう。普段は太平洋ばかりみているので違う風景が堪能できる。
		魚がおいしい
	30 代	ご飯がおいしい

		新鮮で美味しい海産物が多い
	40 代	日本海に面した所はお魚が美味しそう
		美味しいものがたくさんある
		食事が美味しく景観が綺麗
	50 代	食べ物うまい
		食べ物が美味しい。海がきれい。神社やお寺が多い。
		果物が美味しく町並みが、懐かしいところ
	60 代	海産物及び果物がおいしい、空気がきれいそうで景観も良い。
		海鮮　が食べたい
	70 代	食事がおいしい

＜観光地・温泉に関するイメージ＞　25 件

性別	年代	自由記述内容
男性 11 件	19 歳以下	温泉
	20 代	美観地区が綺麗
	30 代	一年中遊べる
	60 代	観光名所や、歴史建造物おおい、観光に適した場所が多い。
		意外に有名な観光地、歴史的施設が多い。
		温泉がいい
		景観と各種の特産品
		隠れた穴場が多い
		観光地を巡りたい。
		たくさん見るところがある。
	70 代	温泉が豊かで、食事もおいしい。
女性 14 件	20 代	観光地があるものの、旅行先として決め手に欠ける
		観光地がたくさんある
	30 代	ゆっくりと観光ができる場所
		観光スポットが豊富
	40 代	温泉が多い、観光施設が多い
		主人の出身地方ですので、毎年訪れます。訪れたいところもたくさんあり、毎回どこに行こうか悩みます
	50 代	近いようでなかなか行けないが宮島が好き
		いいお湯がある。
		観光地化されていて、訪問しやすい。歴史的文化的なものが多い
	60 代	多くの観光地、見る場所がある
		観光地豊富
	70 代	温泉があり、食事がおいしい。
		有名なところが沢山あります。
		瀬戸内側と日本海側の地方それぞれの魅力的な観光地があり、内陸部も見所満載なイメージ。

＜穏やかな田舎のイメージ＞　22 件

性別	年代	自由記述内容
男性 11 件	19 歳以下	田舎
	20 代	田舎
		田舎である
	30 代	田舎
	40 代	人が優しい。ゆったりと時が過ぎる。
		いなか
	50 代	のどか
	60 代	田舎

	70 代	いなか
		のんびり
		静かな所
女性 11 件	19 歳以下	穏やかな雰囲気
		落ち着きのある
	20 代	田舎
	30 代	田舎　天気がよくないと自然景観はイマイチ
		田舎
	40 代	ゆっくりとした時間が過ごせる、自然が綺麗
		田舎だけど優しいイメージがあります。山口県は道路が広くて綺麗なので、走りやすい。瓦そばや河豚など美味しい食べ物が多いです。
	50 代	静か
	60 代	華やかさはないけど、落ち着く感じ
		のんびりしている
	70 代	素朴な感じ

＜アクセスに関する内容＞　21 件

性別	年代	自由記述内容
男性 8 件	19 歳以下	四国に近い。
	20 代	近くていきやすい
		行きやすい
	30 代	身近な場所
	40 代	近くて、車も空いている
	50 代	行きやすいです
	60 代	高速道路が、すいている。
	70 代	地理的に近い
女性 13 件	19 歳以下	近い
	20 代	観光地間の移動距離が長い
		近くて行きやすい
		移動がしやすい
	30 代	行きやすい
		近場の旅行に最適
	40 代	遠い
	50 代	四国から近場なので、1 泊 2 日のプランには丁度よい
		四国から近くて行けそうですが、高知県からは結構遠い
	60 代	近いのでいつでもいけそう
		近くて行きやすい
	70 代	強烈な印象はもっていないが、割と簡単に旅行できる距離である
		私が住んでいる四国に近いので行きやすい。

＜歴史的なイメージ＞　13 件

性別	年代	自由記述内容
男性 5 件	20 代	黒田官兵衛、備中高松城、中国大返し
	60 代	古い時代のものが数多くある感じ
		風土と歴史文化に興味があります。
		歴史、文化が満ち、経済的にも豊かな地域であるかと思います。
	70 代	歴史、温泉、自然
女性 8 件	20 代	文化財が多そう
		歴史と自然の共存
	40 代	古い建物や文化がある
	50 代	歴史と文化を感じる。

	60 代	歴史
		歴史を感じ、また、新しい観光地もあり、楽しいと思う
		歴史的な街並みや雰囲気に憧れる
	70 代	歴史を学ぶ場所が多く温泉もいい

＜山陰と山陽それぞれのイメージ＞　10 件

性別	年代	自由記述内容
男性 6 件	20 代	日本海側と瀬戸内海側で全然違う
	40 代	山陽と山陰で表情が異なる。
	50 代	瀬戸内側は気候が穏やかで文化的に優れている、日本海側は自然豊かでカニがうまい。
		山陽は気候が温暖で、自然災害も少ない。山陰は、雪が多い。
		日本海と瀬戸内海との雰囲気が違う。落ち着いた雰囲気。海の幸が豊富。
	60 代	瀬戸内側は近いが、日本海側は交通の便が悪い。
女性 4 件	40 代	山陰と山陽でまったく気候が違う
	50 代	日本海側は冬の荒波、豪雪、瀬戸内側は温暖な気候。
	60 代	日本海と瀬戸内側で景色が違うと思う。
		瀬戸内の温暖な気候と日本海の荒々しい風景を楽しめる。

＜気候に関するイメージ＞　10 件

性別	年代	自由記述内容
男性 4 件	20 代	過ごしやすい
	40 代	寒そう
	50 代	冬が寒い
	70 代	気候が穏やか
女性 6 件	20 代	天気がいい
	30 代	暮らしやすい
	40 代	気候が穏やかで旅行日程が組みやすそうな感じがする。
		地域、場所によって、気候が違い、色々な体験ができるところが好きです。
		瀬戸内海がおだやかで和む
	60 代	冬は雪深くて遠い感じです

＜その他＞　27 件

性別	年代	自由記述内容
男性 14 件	19 歳以下	岡山と広島に観光客が多い
	20 代	広島、山陰地方
		夕暮れ時がきれい
		人が集まりやすい
		よさこい
		出雲
		たのしそう
	30 代	四国よりは栄えている
	40 代	広い
		横に長い
		あまり行く機会がない。
	50 代	いいところ
		都会的な所がたくさんある
	60 代	普通
女性 13 件	19 歳以下	広島が有名
		広島

		若干栄えている
	20 代	岡山は都会
		大都市と田舎のあいだ
		栄えているイメージ
	30 代	海が近くてきれい
		あまりなじみがない
	40 代	今まで、よく知らない地域
	50 代	よく調べれば、安くて、良いプチ旅行と美味しい物が食べられる。
	70 代	広島の印象がダントツ、島根鳥取は少し暗いイメージ、岡山は特になし、山口は楽しそう
		旅行が、大好きで、ほとんどの場所に、出かけています。
		住んでいる場所と違った雰囲気が有り、機会が有れば行ってみたくなる場所。

＜良くないイメージ＞　10 件

性別	年代	自由記述内容
男性 4 件	20 代	治安が悪い
	30 代	広島だけ
	70 代	観光地内の交通が不便。
		中国地方としての統一イメージはない
女性 6 件	20 代	暗い
		特徴が無いイメージ
	30 代	各県同士の人のまとまりがない
		地味
	40 代	パッとしない
	50 代	白黒の世界

９）中国地方の特産品

中国地方の特産品について思いつくものを３つまで記載していただいたところ、上位５位まではカキ、もみじ饅頭、フグ、お好み焼き、カニであり、それぞれ 50 件以上であった。上位５位は、順位の変動はあったものの前回調査と同じ特産品が挙げられている。

（件）

カキ（牡蠣）	84	しゃもじ	4
もみじ饅頭	74	デニム	4
フグ（河豚）	69	乳製品	4
お好み焼き	62	ラーメン	4
カニ（蟹）	53	尾道ラーメン	4
きびだんご	38	しじみ	3
桃	38	岩国寿司	3
ぶどう（ピオーネ、マスカット）	34	かまぼこ	2
そば（出雲そば、瓦そば）	24	柑橘類	2
梨（20 世紀梨）	23	酒	2
海産物	14	スイカ	2
ままかり	9	祭り寿司	2
レモン（瀬戸内レモン）	7	みかん	2
牛乳	6	むらすずめ	2
のどぐろ	5	ワイン	2
らっきょう	5	あじ	2
あなご（あなご飯）	4		

その他の回答（１件の回答）

海のもの	さわら、たこ
料理	カレー、餃子、大山焼そば、津山ホルモンうどん
甘味	ういろう、桐葉菓、とちもち、萩の月、メロンパン
その他食品	広島菜、りんご、オリーブ（オイル）、果物、コーヒー、漬物、やまいも、らっかせい
観光関連	倉敷美観地区、鳥取砂丘、温泉、いなばの白うさぎ、砂時計、しまねっこ（ゆるキャラ）
その他	化粧筆、備前焼、萩焼、土人形、バラ、桃太郎、金魚ちょうちん、玲珠膏、ソフトウェア
中国地方以外のもの	ぼっちゃんだんご、とべ焼、播州織り

※「その他の回答」は回答があったものを全て記載

※以下、過去データはサンプル数が異なる（今回 500 サンプル、H30 九州圏 500 サンプル、H29 関西圏 400 サンプル、その他 200 サンプル）であることに留意が必要。上位８位までを記載。

（参考：2015 四国圏調査結果）n=200

（件）

1	もみじ饅頭	45
2	お好み焼き	41
3	カキ（牡蠣）	34
4	フグ（河豚）	33
5	カニ（蟹）	26
6	もも（桃）	19
7	そば(出雲そば､瓦そば含む)	18
8	きびだんご	14

（参考：2018 九州圏調査結果）n=500

（件）

1	もみじ饅頭	107
2	お好み焼き	77
3	カキ（牡蠣）	67
4	フグ（河豚）	57
5	きびだんご	44
6	そば（出雲そば、瓦そば）	30
7	桃	18
8	カニ（蟹）	17
	梨（20 世紀梨）	

（参考：2017 関西圏調査結果）n=400

（件）

1	カキ（牡蠣）	72
2	もみじ饅頭	56
3	フグ（河豚）	47
4	梨	40
5	お好み焼き	38
6	きびだんご	28
7	もも（桃）	21
8	カニ（蟹）	20
	ぶどう（ピオーネ、マスカット）	

（参考：2016 首都圏調査結果）n=200

（件）

1	カキ（牡蠣）	31
2	お好み焼き	28
3	フグ（河豚）	27
4	もみじ饅頭	24
5	きびだんご	12
6	そば	11
7	カニ（蟹）	8
8	もも（桃）	7

10）周遊ルート

中国地方を旅行する場合、周遊したいと思われるルートについて自由記述をしてもらったものを、起点となる県別に整理した。

※カッコ内は前回調査の回答数。サンプル数が 2.5 倍（前回調査 200 サンプル、今回 500 サンプル）であることに留意が必要。

起点	ルート	自由記述内容	居住地
鳥取起点 12 （前回 10） 全県-1 4県－1 3県－5 2県－5 1県－0	**中国5県周遊**	鳥取→島根→山口→広島→岡山	高知県
	鳥取→島根→鳥取→山口→広島	鳥取→松江→米子→萩→尾道	香川県
	鳥取→島根→広島	鳥取→出雲→広島	高知県
	鳥取→島根→山口	鳥取→島根→山口	徳島県
		鳥取→島根→長門	徳島県
		砂丘→松江城→出雲大社→萩→下関展望台	高知県
	鳥取→山口→広島	米子→萩→広島	香川県
	鳥取→島根	三朝温泉→玉造温泉	徳島県
		鳥取→出雲	香川県
		鳥取→島根	徳島県
		鳥取→出雲	愛媛県
	鳥取→山口	米子→山口	徳島県
島根起点 9 （前回 10） 全県-0 4県－0 3県－1 2県－6 1県－2	**島根→山口→広島**	出雲→下関→宮島	徳島県
	島根→鳥取	石見銀山→鳥取城→（丹後半島）	高知県
		出雲→松江→鳥取	高知県
	島根→広島	島根玉造温泉→宮島	香川県
	島根→山口	松江→出雲→下関→岩国	徳島県
		島根→山口	徳島県
		出雲→萩→下関	香川県
	島根県内	松江→出雲→益田→津和野	徳島県
		出雲→松江	高知県
岡山起点 57 （前回 32） 全県-9 4県－12 3県－19 2県－16 1県－1	**中国5県周遊**	岡山→鳥取→松江→出雲→萩→広島→福山	徳島県
		岡山→鳥取→島根→山口→広島	香川県
		岡山→鳥取→島根→山口→広島	徳島県
		岡山→閑谷学校→津山→鳥取砂丘→大山→境港→松江→出雲→浜田→津和野→萩→秋吉台→山口→下関→錦帯橋→宮島→広島→尾道→鞆の浦→倉敷	高知県
		岡山→鳥取→島根→山口→広島	徳島県
		岡山→鳥取→出雲→広島→萩	高知県
		岡山→広島→山口→島根→鳥取	徳島県
		倉敷→尾道→萩→出雲→米子	徳島県
		岡山→広島→山口→島根→鳥取→（兵庫）	高知県
	岡山→鳥取→島根→広島	岡山→鳥取→出雲→広島	香川県
	岡山→鳥取→島根→広島→岡山	蒜山→湯原→境港→米子→玉造→出雲→尾道→倉敷	香川県
	岡山→鳥取→島根→山口	岡山→米子→出雲→萩→下関	高知県
		岡山→鳥取→出雲→萩	愛媛県
	岡山→島根→山口→広島→岡山	岡山→島根→山口→広島→岡山	徳島県

起点	ルート	自由記述内容	居住地
岡 山 起点 （続き）	岡山→広島→鳥取→島根	岡山→広島→鳥取→島根	徳島県
	岡山→広島→島根→山口→広島	倉敷→尾道→出雲→長門→広島	高知県
	岡山→広島→島根→山口	岡山→広島→島根→山口	徳島県
		岡山→福山→広島→津和野→下関	香川県
	岡山→広島→山口→鳥取	岡山→広島→下関→鳥取	香川県
		岡山→広島→山口→鳥取	香川県
	岡山→広島→山口→島根	岡山→広島→山口→島根	高知県
	岡山→鳥取→島根	倉敷→米子→安来→松江→出雲	徳島県
		岡山→鳥取→出雲	高知県
		岡山→山陰	徳島県
	岡山→鳥取→広島	岡山→鳥取→広島→愛媛	香川県
	岡山→島根→広島	岡山→松江→出雲→広島→尾道	愛媛県
	岡山→島根→山口	岡山→松江→浜田→萩→長門	香川県
	岡山→広島→島根	岡山→広島→出雲	香川県
		岡山→倉敷→宮島→島根	香川県
		岡山→宮島→出雲	香川県
	岡山→広島→山口	倉敷→尾道→萩	徳島県
		倉敷→宮島→下関	高知県
		岡山→広島→山口	香川県
		岡山→広島→山口	徳島県
		倉敷→呉→下関	愛媛県
		岡山→広島→山口	徳島県
		倉敷→呉→広島→山口	香川県
		岡山→広島→下関	愛媛県
		岡山→広島→山口→(福岡)	香川県
		岡山→広島→山口	高知県
	岡山→鳥取	倉敷→米子	徳島県
		津山→鳥取	香川県
	岡山→島根	岡山→島根	徳島県
	岡山→広島	岡山→福山→広島	香川県
		瀬戸大橋→しまなみ海道	愛媛県
		倉敷→広島	高知県
		岡山→広島	香川県
		岡山→広島	徳島県
		倉敷→尾道→呉→広島	香川県
		岡山→広島→宮島	徳島県
		岡山→宮島	愛媛県
		岡山→広島	高知県
		岡山→広島	愛媛県
		岡山→広島	高知県
		岡山→広島	香川県
	岡山→山口	倉敷→岩国→宇部→下関	徳島県
	岡山県内	岡山	高知県

起点	ルート	自由記述内容	居住地
広島起点 63 (前回 24) 全県-4 4県－2 3県－15 2県－27 1県－15	中国5県周遊	広島→福山→岡山→鳥取→島根→山口	愛媛県
		広島→岩国→津和野→萩→出雲→松江→米子→岡山	愛媛県
		広島→下関→萩→石見→出雲→松江→米子→岡山	高知県
		広島→山口→島根→鳥取→岡山	香川県
	広島→島根→鳥取→岡山	広島→松江→鳥取→岡山	香川県
		福山→広島→島根→鳥取→岡山	徳島県
	広島→鳥取→島根	しまなみ海道→尾道→宮島→鳥取砂丘→出雲大社	高知県
		やまなみ街道→山陰	愛媛県
	広島→島根→鳥取	広島→松江→米子	愛媛県
		尾道→出雲→安来→鳥取	徳島県
		尾道→出雲→鳥取→大山	香川県
		尾道→三次→出雲→倉吉	愛媛県
	広島→島根→岡山	呉→出雲→倉敷	愛媛県
	広島→島根→山口	広島市→出雲大社→萩→下関	高知県
	広島→岡山→島根	広島→岡山→島根	高知県
	広島→山口→鳥取	広島→下関→鳥取砂丘	愛媛県
		宮島→下関→鳥取砂丘	愛媛県
	広島→山口→島根	尾道→三次→広島→下関→松江	愛媛県
		宮島→山口→隠岐	香川県
	広島→山口→岡山	宮島→周南→下関→児島	徳島県
	広島→山口→広島→岡山	しまなみ海道→山口→広島→岡山	高知県
	広島→島根	広島→島根	愛媛県
		三次→島根	高知県
		宮島→出雲	高知県
		広島→三次→出雲	香川県
		宮島→広島→出雲	愛媛県
	広島→岡山	(博多)→広島→岡山	徳島県
		宮島→広島→倉敷	愛媛県
		宮島→広島→岡山	高知県
	広島→山口	広島→萩	徳島県
		宮島→広島→山口→松山	愛媛県
		兵庫→広島→山口	徳島県
		広島→山口	徳島県
		しまなみ海道→山口	高知県
		広島→山口	愛媛県
		宮島→山口	香川県
		宮島→萩	香川県
		広島→下関	愛媛県
		宮島→下関	徳島県
		広島→下関	高知県
		宮島→角島→(博多)	徳島県
		広島→下関	愛媛県
		宮島→岩国→下関	香川県

起点	ルート	自由記述内容	居住地
広 島 起点 （続き）	広島→山口 （続き）	広島→宮島→山口	高知県
		広島→下関	徳島県
		広島→下関	徳島県
		広島→山口→萩	徳島県
		福山→宮島→広島→下関	徳島県
	広島県内	（松山→）呉→とびしま海道→大三島→しまなみ海道→因島ゆめしま海道（→今治）	愛媛県
		しまなみ海道	高知県
		広島→宮島	愛媛県
		しまなみ海道→呉→尾道	愛媛県
		（愛媛→）しまなみ海道	高知県
		しまなみ海道→尾道→厳島	徳島県
		しまなみ海道→尾道	高知県
		しまなみ海道	愛媛県
		しまなみ海道→広島	高知県
		尾道→竹原→呉→宮島	愛媛県
		広島（→福岡）	香川県
		宮島	高知県
		しまなみ海道	徳島県
		広島→宮島	愛媛県
		呉→広島	徳島県
山口起点 17 （前回 11） 全県-0 4県－0 3県－5 2県－6 1県－6	山口→鳥取→広島→山口	萩→鳥取→大山→広島→下関	愛媛県
	山口→島根→鳥取	萩→出雲→松江→砂丘	徳島県
		山口→島根→鳥取	高知県
		下関→長門→萩→山口→出雲→松江→鳥取	高知県
	山口→広島→鳥取	（博多→）下関→柳井→岩国→広島→鳥取	徳島県
	山口→島根	下関→出雲	徳島県
		下関→長門→益田→江津	高知県
		山口→萩→津和野	徳島県
		萩→津和野	高知県
	山口→島根→山口	山口→津和野→萩	高知県
	山口→広島	下関→岩国→広島→呉	徳島県
	山口県内	萩→山口	徳島県
		山口→岩国	愛媛県
		秋吉台→角島大橋	徳島県
		萩→長門→下関→岩国	香川県
		下関→岩国	高知県
		下関→（博多）	徳島県

（参考）県別集計

		徳島県	香川県	愛媛県	高知県			徳島県	香川県	愛媛県	高知県
起点となる県	鳥取県	5	3	1	3	訪問県数	中国5県	5	2	2	5
	島根県	4	2	0	3		4県	5	6	2	3
	岡山県	18	19	7	14		3県	11	11	10	12
	広島県	16	9	22	15		2県	23	13	11	11
	山口県	8	1	2	6		1県	7	2	7	10

３．まとめ

１）過去調査との特徴比較

	四国圏在住者（今回） 2019 調査（n=500）		四国圏在住者（前回） 2015 調査（n=200）	
訪問したことのある観光地※	①広島	62.4%	①倉敷	36.5%
	②倉敷	61.4%	②広島	32.0%
	③岡山	50.2%	③鳥取	29.0%
	④宮島	50.0%	④宮島	24.5%
	⑤鳥取	38.2%	⑤出雲	20.5%
	行ったことはない	8.4%	行ったことはない	5.5%
訪問したことのある県	①広島県	28.6%	①広島県	27.0%
	②岡山県	26.8%	②岡山県	26.8%
未訪問理由	①きっかけがない	57.1%	①きっかけがない	54.5%
	②遠い	28.6%	②遠い	18.2%
	③時間がない	21.4%	②話題にならない	18.2%
	④旅費が高い	16.7%	②時間がない	18.2%
	情報が少ない	9.5%	情報が少ない	9.1%
満足度	全体	60.4%	全体	62.5%
満足度理由	①観光施設	43.0%	①観光施設	38.4%
	②自然景観	32.8%	②自然景観	36.7%
	③歴史・文化	25.5%	③歴史・文化	33.7%
行ってみたい観光地※	①鳥取	28.8%	①出雲	29.0%
	②出雲	26.6%	②鳥取	19.5%
	③宮島	19.6%	③下関	12.5%
	④下関	19.2%	④石見銀山	11.0%
	⑤石見銀山	15.0%	④萩	11.0%
	行ってみたいところはない	15.0%	行ってみたいところはない	7.0%
旅行予定日数	①1泊2日	45.6%	①1泊2日	47.3%
	②2泊3日	43.1%	②2泊3日	43.0%
特産品イメージ	①牡蠣	84 人	①もみじ饅頭	45 人
	②もみじ饅頭	74 人	②お好み焼き	41 人
	③ふぐ	69 人	③牡蠣	34 人
	④お好み焼き	62 人	④ふぐ	33 人
	⑤カニ	53 人	⑤カニ	26 人
傾向・特徴	・1泊2日又は2泊3日の日程で岡山、広島を入口として周遊 ・観光施設により重きを置いて評価 ・未訪問の理由として遠いが前回に比べ上昇		・1泊2日又は2泊3日の日程で岡山、広島を入口として周遊 ・観光施設により重きを置いて評価 ・未訪問の理由として話題にならないが2割弱	

※過去調査と比較して特徴的な変化がある項目を □ で表示している。
※「訪問したことのある観光地」「行ってみたい観光地」は今回調査では該当 10 地域まで回答している。
（H29 調査までは該当 3 地域）

	九州圏在住者 2018 調査（n=500）		関西圏在住者 2017 調査（n=400）		首都圏在住者 2016 調査（n=200）	
訪問したことのある観光地 ※	①広島	54.2%	①鳥取	38.3%	①行ったことはない	37.0%
	②下関	53.6%	②倉敷	25.3%	②広島	29.0%
	③宮島	51.4%	③広島	24.3%	③宮島	21.5%
	④秋吉台・秋芳洞	47.4%	④出雲	21.8%	④鳥取	17.5%
	⑤萩	34.6%	⑤宮島	21.3%	⑤倉敷	15.5%
	行ったことはない	11.6%	行ったことはない	9.0%		
訪問したことのある県	①山口県	35.3%	①鳥取県	30.3%	①広島県	34.3%
	②広島県	27.2%	②広島県	22.6%	②岡山県	19.8%
未訪問理由	①きっかけがない	74.4%	①きっかけがない	69.4%	①きっかけがない	73.0%
	②遠い	22.4%	②遠い	25.0%	②遠い	60.8%
	③時間がない	17.2%	③情報が少ない	19.4%	③時間がない	17.6%
	④旅費が高い	8.6%	④時間がない	16.7%		
	情報が少ない	5.2%	話題にならない	8.3%	情報が少ない	12.8%
	話題にならない	3.4%			話題にならない	12.8%
満足度	全体	59.6%	全体	65.0%	全体	69.6%
満足度理由	①観光施設	44.3%	①自然景観	40.8%	①歴史・文化	42.2%
	②自然景観	34.1%	②観光施設	32.5%	②観光施設	38.6%
	③歴史・文化	31.3%	③雰囲気	31.3%	③自然景観	38.0%
行ってみたい観光地 ※	①出雲	41.8%	①出雲	24.5%	①出雲	36.0%
	②鳥取	40.6%	②鳥取	15.0%	②鳥取	25.5%
	③宮島	26.8%	③宮島	14.5%	③行ってみたいところはない	19.0%
	③広島	21.2%	④しまなみ海道	13.5%	④宮島	14.0%
	⑤倉敷	18.8%	⑤萩	11.5%	⑤倉敷	13.5%
	行ってみたいところはない	14.0%	行ってみたいところはない	12.3%	行ってみたいところはない	19.0%
旅行予定日数	①2泊3日	54.7%	①2泊3日	51.3%	①2泊3日	55.6%
	②1泊2日	25.1%	②1泊2日	38.7%	②3泊以上	28.4%
特産品イメージ	①もみじ饅頭	107 人	①牡蠣	72 人	①牡蠣	31 人
	②お好み焼き	77 人	②もみじ饅頭	56 人	②お好み焼き	28 人
	③牡蠣	67 人	③ふぐ	47 人	③ふぐ	27 人
	④ふぐ	57 人	④梨	40 人	④もみじ饅頭	24 人
	⑤きびだんご	44 人	⑤お好み焼き	38 人	⑤そば	11 人
傾向・特徴	・2泊3日までの日程で山口～広島を周遊 ・観光資源により重きを置いて評価 ・未訪問の理由として情報が少ない、話題にならないは5%前後		・2泊3日の日程で岡山、広島を起点として2～3県を周遊 ・自然景観に最も満足している他、観光施設、雰囲気の満足度が高い ・未訪問の理由として情報が少ないが2割弱		・2泊3日以上の日程で広島、岡山、鳥取を中心に周遊 ・歴史・文化により重きを置いて評価 ・未訪問理由として時間がないが2割弱	

※過去調査と比較して特徴的な変化がある項目を □ で表示している。

※「訪問したことのある観光地」「行ってみたい観光地」は H30 調査では該当 10 地域まで回答している。

（H29 調査までは該当 3 地域）

２）調査結果からみる四国圏からの誘客方策の方向性

(1) 四国圏からのアクセス改善による誘客促進

○バス利用者に向けた中国地方交通パス・観光 MaaS の開発

四国圏から中国地方を訪れた際の交通手段として、自家用車利用に次いで多いのがバス利用であり、全体の２割程度と他圏域と比較しても高い値となっている。このバス利用者（主に高速バス利用）をターゲットとした場合、現時点の高速バスの定期便は四国圏の各県庁所在地と岡山、広島、福山を結ぶ路線が以下の通り運行されており、四国からの訪問希望の多い山陰や下関等へ行くためには乗り継ぎが必要となる。中国地方の多様な高速バス路線をカバーする交通パスの開発、更に中四国で利用可能な観光 MaaS の開発により船舶や鉄道ともシームレスで利用可能な状況を創出することにより、四国圏からバス利用で中国地方を広域に周遊することが可能になると考えられる。

＜四国圏と中国地方を結ぶ高速バスネットワーク＞2019.12 時点

	徳島	高松	松山	高知
岡山	3 便、3,000 円	―	6 便、4,500 円	9 便、3,700 円
広島	2 便、6,300 円	5 便、4,100 円	―	2 便、6,800 円
福山	―	―	4 便、4,000 円	―

※便数は１日あたり、金額は主要地点間の片道通常運賃。

（資料）各バス会社ホームページ

○自家用車での来訪者に向けた広域周遊ルート形成

四国圏から中国地方を訪れた際の交通手段は自家用車利用が大半であり、岡山、広島を起点とした周遊希望が多く挙がった。訪問希望地として、鳥取、出雲、石見銀山など山陰側や、下関を挙げる回答が多いことから、既に行われている高速道路の周遊割引事業（ぶらり中国ドライブパス）の拡大や恒常的な実施のほか、JR 駅等の交通結節点からのレンタカー利用促進が求められる。加えてＩＣカードを使ったタッチラリー（参考事例①参照）やスマートフォンを使ったデジタルスタンプラリー（参考事例②参照）、各インターチェンジでの乗り降りが自由な尾道松江線の利用促進等により、岡山、広島を起点として山陽・山陰を結ぶ広域周遊ルートを形成することが望まれる。

＜参考事例①：広島広域都市圏デジタルタッチラリー＞

広島広域都市圏では、2018 年度に、ＩＣカード（PASPY や WAON など交通系、流通系の非接触型ＩＣカード）を活用した周遊ラリーを実施した。広島広域都市圏内 24 市町のうち、10 カ所にタッチ拠点を設置し、タッチした回数に応じて、抽選で航空券、宿泊券や市町の特産品などの豪華賞品が当たるものであり、IC カードを利用した周遊誘発の取組となっている。

（資料）広島市（広島広域都市圏）ホームページ

＜参考事例②：JAF デジタルスタンプラリー「中国 5 県×JAF スタンプラリー2019」＞

スマートフォン用アプリ「iStamp®」によるデジタルスタンプラリーで、中国 5 県の道の駅 103 ヵ所、観光地 72 ヵ所等、全 22 コース 236 ヵ所が立ち寄りポイントとして設定されている。デジタルスタンプの提示による特典付与や、各コースの全スタンプ取得による特産品等の抽選参加など、手軽に周遊を促す仕組みとして機能している。

（出典）JAF ホームページ

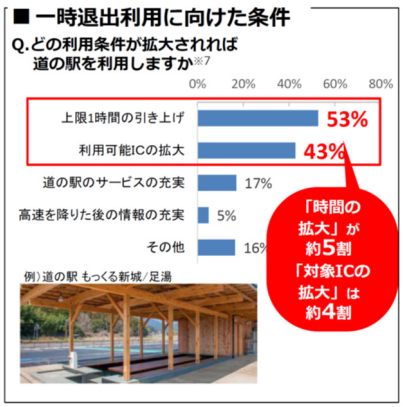
○ETC2.0 の一時退出の活用による立ち寄りの誘発

国土交通省では高速道路利用者に向けた新たな取組として ETC2.0 を活用した高速道路からの一時退出を可能とする社会実験を行っており（参考事例③参照）、中国地方では５つの道の駅が設定されるなど、四国圏の自動車利用者の中国地方における周遊を促す観点からは有用であると考えられる。しかし、現在の社会実験は指定 IC 退出後、１時間以内に同 IC から再流入する必要があり、道の駅における休憩を目的とした利用しか想定されていない。今後、中国地方における周遊を促す仕組みとして、退出可能時間の延長（３時間以内の一時退出を可能とする等）により、道の駅だけでなく、周辺の観光施設にも立ち寄ることが可能となり、目的地だけでなく、途中の観光地への立ち寄りを誘発することが期待される。

＜参考事例③：ETC2.0 を活用した「賢い料金」社会実験＞

国土交通省では、高速道路からの一時退出を可能とする「賢い料金」の社会実験を行っている。中国地方では５つの道の駅が対象となっており、高速道路利用者が、１時間以内の制限はあるが、道の駅での休憩や買い物、食事、周辺の交通観光情報の入手などに加えて、周辺のガソリンスタンドを利用することも可能となり、高速道路利用者の利便性向上が図られるとともに、道の駅も広域的な利用者増加が期待できる取組である。社会実験の利用者アンケート結果では、今後の利用に向けて「上限１時間の引き上げ」や「利用可能 IC の拡大」が期待されている。

利用者アンケート結果



（資料）国土交通省中国地方整備局ホームページ、国土交通省記者発表資料（2019 年 6 月 28 日）

○愛媛県から広島県への船舶利用促進による誘客ルート形成

利用交通手段では、広島県への交通手段として「船」の割合が他県に比べて多く、愛媛県から広島県に向けて船舶利用を促進することが誘客拡大に必要である。両県間では、近年、尾道港を拠点とする「サイクルシップ・ラズリ」や広島・呉～松山航路のフェリー「シーパセオ」が新造船として就航しており、更に 2020 年夏のオリンピック・パラリンピックの開催に合わせ JR 西日本グループおよび瀬戸内海汽船グループでは観光型高速クルーザー（参考資料④参照）の開発・導入を進めているなど、鉄道と船舶を組み合わせた新たな観光周遊ルートの形成が期待される。

＜参考事例④：せとうちエリアにおける観光型高速クルーザー＞

JR 西日本グループおよび瀬戸内海汽船グループは、2019 年（令和元年）5 月 8 日に締結した「せとうちエリアの海事観光の振興に向けた連携協定」に基づき、これまでになかった観光型高速クルーザー「SEA SPICA（シー スピカ）」の開発・導入を進めている。2020 年夏のオリンピック・パラリンピック開催時期にあわせた竣工を目指しており、90 人程度の座席定員、外国人観光客に対応した船内案内設備を備え、広島港（宇品）と三原港とを結ぶ、とびしま海道・しまなみ海道エリアを運行エリアとする予定である。

（資料）瀬戸内海汽船ホームページ、記者発表資料（2019 年 10 月 16 日）

(2) 四国圏に向けたプロモーションの推進

○近距離にある観光資源の豊富な地域というイメージを活かしたファン獲得

中国地方の満足度理由は美術館・博物館・水族館などの「観光施設」が最も高く、四

国圏から観た中国地方は、近距離にある観光資源の豊富な地域として捉えられていることがわかる。倉敷、広島、鳥取、宮島など既に訪問経験率の高い地域の満足度を高め、ファン・リピーターの獲得による継続的な誘客増加を図るとともに、未訪問エリアについても観光施設を中心とした観光地をＰＲすることが必要である。

特に訪問希望率の高い山陰地域への誘客を図るために、山陰の自然資源や歴史資源のＰＲとともに、足立美術館や砂の美術館、島根県立しまね海洋館アクアス等、観光施設についてもＰＲを行うことが効果的である。

また、2020 年には広島県では「ひろしまトリエンナーレ 2020 in BINGO」の開催が予定されており、美術展覧会の集客エリアとして四国圏を見据えたＰＲを展開することも必要である。

○各県で異なる訪問希望地に注目したＰＲ

居住県別の訪問希望地は、上位２位までは各県とも鳥取、島根となっているが、３位以下を見ると、徳島県や香川県では宮島、下関、広島が入っており、瀬戸内側の西側への訪問希望が高くなっている。愛媛県や高知県では３位に玉造温泉が入っており、徳島県や香川県に比べて、より山陰側への訪問ニーズが高い。広島県や山口県の四国圏に向けたプロモーションは徳島県、香川県を重点的に行うことや、山陰のプロモーションとして愛媛県や高知県に対しては玉造温泉を含めた展開を行う等、県毎に異なるニーズを踏まえたＰＲを進めることも必要である。

○ファミリー層に向けた体験プログラムのＰＲ

中国地方のイメージに関する自由記述では、自然が豊か、海がきれいといった自然景観のイメージが多く挙がった。四国圏からは、隣接する岡山県、広島県の訪問経験が多いが、訪問希望は出雲、鳥取が高くなっており、中国山地及び山陰の魅力をＰＲしていきたい。特に、登山、キャンプ、グランピング、雪山散策、沢登り等、豊かな自然を活用した体験プログラムについて、四国圏のファミリー層向けに商品造成し、小学校等でのチラシ配布やアウトドアショップでのキャンペーン等、ターゲット毎のアナログ情報発信により誘客を図ることが求められる。体験プログラムの充実しているアウトドアフィールドとしては、鳥取砂丘、大山、隠岐等が挙げられるが、他にも中国地方の中山間地域は自然資源に恵まれており、広島県佐伯区湯来地域ではシャワークライミングという川の中に入って歩いて川を遡上するアクティビティを開発・商品化している等、これまで自然体験のイメージが無かった地域でも新たに取り組むことが可能である。

○高齢者層の誘客に向けた施設のバリアフリー化の推進

中国地方の満足度の理由として「観光施設」が挙げられている一方、宿泊施設、温泉、ガイドなどの満足度の評価は低くなっている。宿泊施設の満足度向上に向けては、宿泊施設のおもてなし力の向上とともに、魅力ある宿泊施設の整備が必要となる。今後、高

齢化が進む日本においては、高齢者層が国内旅行の主たる市場となることが想定されることから、中国地方全体で宿泊施設のバリアフリー化を進め、高齢者対応が他地域に比べて進んでいる中国地方というイメージを形成することにより、高齢者層の誘客を図ることが求められる。

○旅行する「きっかけ」に繋がるメディア展開

中国地方に行ったことがない理由としては、「きっかけがない」という消極的な理由が前回調査と同様に半数以上あった。また、九州圏と比較すると「情報が少ない」「話題にならない」が多く、四国圏の地元メディア（テレビ、新聞、雑誌等）における露出が少ないものと思われる。

前述の観光施設のＰＲや自然資源を活用した体験プログラムのＰＲについて、四国圏の地元メディアを中心としたプロモーション展開、四国圏各地でのキャンペーンの実施、集客拠点でのイベント等、四国圏内での露出を増やし、訪問する「きっかけ」づくりを行うことが必要である。